

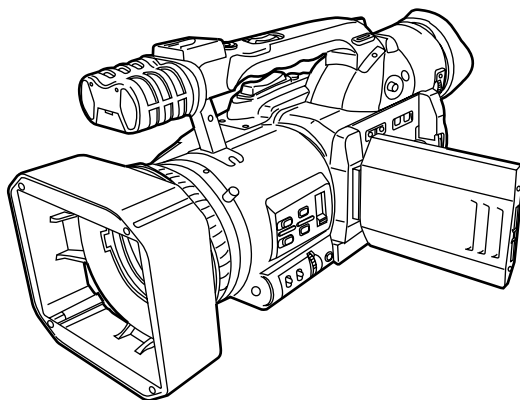
# Panasonic®

## 取扱説明書

### カメラレコーダー

品番 AG-**DVX100B**

Mini **DV**  
NTSC



このたびは AG-DVX100B をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4 ~ 10 ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

#### 保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

<b>はじめに</b>	
安全上のご注意	4
まずお読みください	11
付属品	11
使用上のご注意	12
システム動作確認	14
準備する	14
電源コードを接続する	14
カセットテープを入れる	14
電源を入れる	15
撮影する	15
撮影した内容を確認する (レックチェック)	16
テープを取り出す	16
電源を切る	17
電源コードを外す	17
グリップベルトの調節	18
ショルダーベルトの取り付け	18
レンズフードの取り付け	19
レンズキャップ用ストラップの取り付け	19
カセットテープについて	19

<b>各部のなまえ</b>	
各部の名称	20
カメラレコーダー	20
リモコン	23

<b>準備</b>	
リモコンについて	24
電池を入れる	24
リモコンの設定	24
バッテリーについて	25
充電する	25
取り付ける	26
取り外す	26
ファインダーについて	27
ビューファインダーを使う	27
液晶モニターを使う	28
映像の輪郭を強調する	28
画面表示を調整する	29
タイムデータについて	30
カレンダーを合わせる	30
内蔵電池の充電	31
ユーザズピットを設定する	31
タイムコードを設定する	32
タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)	33

<b>撮影</b>	
通常の撮影	35
準備と点検	35
オートモードで撮影する	35
目的に合わせて撮影する	36
撮影した映像を確認する (レックチェック)	36
撮影した場面を探す (イメージサーチ)	36
ズーム機能	36
ローアングル撮影	37
対面撮影	37
ゼブラパターン	37
マーカー	37
コマ撮り撮影 (ONE-SHOT REC)	38
映像サイズを変える	38
手ぶれ補正機能	39
USER ボタンの活用	39
逆光補正	39
インデックス記録	39
カラーバー	39
映像に効果を加える	39
バックアップ記録	40
マニュアルモードへの切り替え	40
撮影時の音量調整	40
プログレッシブモードで撮影する	41
ピントを合わせる (フォーカス)	42
シャッタースピードを調整する	43
スローシャッターモード	44
シンクロスキャン	44
ホワイトバランスを調整する	45
ホワイトバランスの調整	45
プリセット値の利用	46
ブラックバランスの調整	46
ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイトバランス機能	46
絞り、ゲイン、光量を調整する	47
絞り調整	47
ゲイン調整	47
光量調節	47
入力音声を切り替える	48
内蔵マイクを使う	48
外部マイクやオーディオ機器を使う	48
音声の記録レベルを調整する	48
撮影用の設定を使い分ける (シーンファイル)	49
シーンファイルの設定変更	49
シーンファイル転送機能を使う	51

## 再生

再生する .....	52
音量を調整する .....	53
テレビに接続して見る .....	53
撮影日時を確認する .....	53
速度を変えて再生する .....	54
スロー再生 .....	54
コマ送り再生 .....	54
早送り再生 / 巻き戻し再生 .....	54
インデックスサーチ .....	54
可変速サーチ .....	55
エンドサーチ .....	55
カウンターを利用する .....	56
カウンター表示 .....	56
メモリーストップモード .....	56
1394TC プリセットモード .....	56

## 編集

外部機器を接続する .....	57
ヘッドホン .....	57
外部マイク .....	57
デジタルビデオ機器 .....	58
テレビ .....	59
ビデオデッキ .....	59
アフレコ .....	60
ダビングする .....	62
アナログ入力 .....	62
アナログ出力 .....	63
デジタル入出力 .....	64

## 表示

画面の表示 .....	65
カメラモードと VCR モードでの表示 .....	65
VCR モードだけの表示 .....	68
警告表示 .....	68
画面表示内容の選択 .....	69

## メニュー

設定メニューの操作 .....	70
設定メニューの操作方法 .....	70
設定メニューを初期化する .....	71
設定メニューの構成 .....	72
カメラモードのメニュー .....	72
VCR モードのメニュー .....	73
設定メニュー一覧 .....	74
SCENE FILE 画面 .....	74
CAMERA SETUP 画面 .....	76
SW MODE 画面 .....	76
AUTO SW 画面 .....	77
PLAYBACK FUNCTIONS 画面 .....	78
RECORDING SETUP 画面 .....	79
AV IN/OUT SETUP 画面 .....	80
DISPLAY SETUP 画面 .....	81
OTHER FUNCTIONS 画面 .....	82

## ご参考




故障?と思ったら (Q&A) .....	84
結露 .....	87
タリーランプ .....	87
システムリセット .....	87
ビデオヘッド .....	88
お手入れについて .....	88
保管上のご願い .....	89
保証とアフターサービス .....	90
定格 .....	91

• LEICA/ライカは、ライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。  
• DICOMAR/ディコマーは、ライカカメラ AG の登録商標です。  
その他、この説明書に記載されている、各種説明、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。




## 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

# ⚠ 危険

**バッテリーを分解・加工（はんだ付けなど）・加圧・加熱・火中投入などをしない**



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

**禁 止**

- 不要（寿命）になったバッテリーについては、13 ページを参照してください。

**バッテリーの端子部（ $\oplus$  と  $\ominus$ ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない**



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

**禁 止**

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

**バッテリーの充電は、専用の充電器を使う**



機器の形状が同じでも性能が異なると、バッテリーの液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

- バッテリーを指定以外の機器に使わないでください。

**バッテリーを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない**



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

**禁 止**

**指定外のバッテリーを使用しない**



火災や事故の原因になります。また、バッテリーの液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

**禁 止**

**バッテリーをクギで刺したり、衝撃を与えたりしない**



液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

**禁 止**

## 警告

### 不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

### ACコードや接続コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

### 付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

### 機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



禁止

火災や感電の原因になります。

### 本機を改造しない！



分解禁止

火災や感電の原因になります。

### ACコード・電源プラグが破損するようなことはしない！ 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

### 機器が濡れたり、水が入らないようにする！



火災や感電の原因になります。  
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

### 指定のカバー以外は外さない！



分解禁止

感電の原因になります。

•コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 表示された電源電圧以外は使用しない！



禁止

火災や感電の原因になります。

### コンセントや配線機器の定格を超えて使用しない！



禁止

たご定配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

# 警告

**電源プラグは、根元まで確実に差し込む！**



火災や感電の原因になります。  
傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

**本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、POWERスイッチを切り、バッテリーを外す！**



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

**ACコードが傷んだ場合は、交換を依頼する！**



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

**本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプターの電源(プラグ)を抜く！**



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

**電源プラグを抜く**

- お買い上げの販売店にご相談ください。

**煙が出ている、変なにおいや音ができるなどの異常状態の場合は、POWERスイッチを切り、バッテリーを外す！**



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

**煙が出ている、変なにおいや音ができるなどの異常状態の場合は、ACアダプターの電源(プラグ)を抜く！**



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

**電源プラグを抜く**

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

**機器使用のボタン電池を、お子さまの手の届く所に置かない！**



**禁止**

電池は、お子さまの手の届かないところに置く。

- 万一、飲み込んだ場合は、医師に相談してください。

**専用のACアダプター以外は使用しない！**



**禁止**

定格外のACアダプターを使用すると、火災の原因になる恐れがあります。

## ⚠ 注意

**AC コードを熱器具に近づけない！**



コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。

禁止

**油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない！**



火災や感電の原因になる恐れがあります。

禁止

**本機や AC アダプターの放熱を妨げない！**



内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。

禁止

**プラグやコネクタを抜くときは、コードを引っ張らない！**



コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

禁止

- 風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布巾の上に置かないでください。

- 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。

**ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない！**



感電の原因になる恐れがあります。

禁止

**カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する！**



けがをする恐れがあります。

指に注意

**長期間使用しないときは、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く！**



火災の原因になる恐れがあります。

電源プラグを抜く

**運転中や歩行中は、操作や鑑賞をしない！**



操作や鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。事故の原因になります。

禁止

**長時間使用しないときは、バッテリーを外す！**



火災の原因になる恐れがあります。



# ⚠ 注意

**使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する！**



けがや事故につながる恐れがあります。

**雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグにふれない！**



落雷すると、感電につながります。

接触禁止

**コードやショルダーベルトを下にたたらさない！**



触れたり、引っかけたりすると、落ちてけがをする恐れがあります。

禁止

**不安定な場所で、三脚を使わない！**



倒れると、けがをする恐れがあります。

禁止

**レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない！**



集光により、内部部品破損の原因となり、破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災の恐れがあります。

禁止

**バッテリー（パック）を充電しているときは、周囲に燃えやすいものを置かない！**



火災や感電の原因になる恐れがあります。

禁止

**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う！**



本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

**高温になるところに放置しない！**



禁止

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。カセットテープやビデオカメラを絶対に放置しないでください。外装ケースが変形するだけでなく、内部部品も破損し、故障の原因となります。そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の恐れがあります。

## ⚠ 注意

お手入れの際は、AC アダプターの電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ  
を抜く

火災や感電の原因になる恐れがあります。

お手入れの際は、POWER スイッチを切り、バッテリーを外す！



火災や感電の原因になる恐れがあります。

1 年に 1 度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をしてください！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。

異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにする！



放置すると、火災や感電の原因になります。

- AC アダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
- AC アダプターを電源から完全に遮断するには電気プラグを抜く必要があります。

ボタン電池の ⊕・⊖ 部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない！



禁止

接触すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

ボタン電池は、極性（⊕・⊖）を正しく取り付ける



極性を誤ると、破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染原因になります。

ボタン電池（リモコン用電池 / バックアップ用電池）は、指定の品番のものと交換する



指定外の電池と交換すると、破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染原因になります。

- バックアップ電池の交換は、販売店またはサービス店にご依頼ください。

# まずお読みください

## ためし撮りをしましょう

- 大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

## 録画内容の補償はできません

- ビデオカメラ、本機およびテープの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

## 著作権について（録画テープの取り扱い）

- あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## 本書内のイラストについて

- ビデオカメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

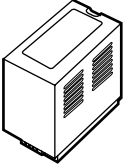
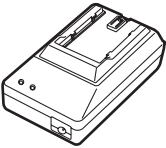



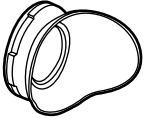
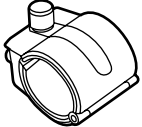


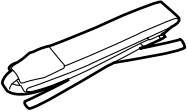

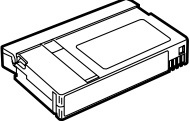
## 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（→ 91 ページ）のように示しています。

## 使用できるテープについて

- 本機で使用できるカセットは、<sup>Mini</sup> DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

## 付属品

バッテリー（*） 	AC アダプター（*） 	AC コード 	DC コード 
ワイヤレスリモコン リモコン用ボタン電池 (CR2025) 	アイキャップ 	マイクホルダー 	マイクホルダー用ネジ 長さ 6 mm × 2 長さ 12 mm × 2 
マイクホルダーアダプター 	ショルダーベルト 	キャップストラップ 	クリーニングテープ (AY-DVMCL) 

\*：「バッテリー」「AC アダプター」の品番につきましては、【別売周辺機器】の項目（→ 92 ページ）を参照してください。

# 使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使うときは、ビデオカメラに水が入らないようご注意ください。

- ビデオカメラやカセットの故障につながります。(修理できなくなることがあります。)

**磁気を発生する機器（テレビ、テレビゲームなど）からビデオカメラを遠ざけてください。**

- テレビの上やその周辺でビデオカメラを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、テープ録画を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、ビデオカメラに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりビデオカメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、ビデオカメラの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後ビデオカメラの電源を入れます。

**ビデオカメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。**

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

**海岸などで使用する場合、砂やほこりがビデオカメラに入らないようご注意ください。**

- 砂やほこりでビデオカメラやカセットが破損することがあります。(カセットを出し入れするときにはご注意ください。)

**ACアダプターとバッテリーについて**

- バッテリー本体の温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくはバッテリーが長期間使用されずに放電したままになっているとき、[CHARGE] ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも [CHARGE] ランプが点滅し続けるときは、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。

- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

**ビデオカメラを持ち運ぶとき、落とさないようご注意ください。**

- 強い衝撃でビデオカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- ビデオカメラを持ち運ぶときは、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱いってください。

**ビデオカメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。**

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、ビデオカメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ビデオカメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

**使用後は、必ずカセットを取り出し、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いておきます。**

- カセットを入れたままにしておくと、テープがたるみ、テープをいためます。
- 長時間バッテリーをビデオカメラに付けておくと、バッテリーの電圧が下がらずして、バッテリーは充電しても再使用できなくなります。

## バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった5分ほどしかもちません。

## 使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

ビデオカメラからバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておくと、ビデオカメラの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。) 長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

## 使用できなくなったバッテリーを処理するとき

- バッテリーには寿命があります。

**不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。**

## バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをビデオカメラに入れたり、ACアダプターに付けると、ビデオカメラやACアダプター側を傷めることがあります。

## 液晶について

- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラレコーダーが冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

## レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けないでください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

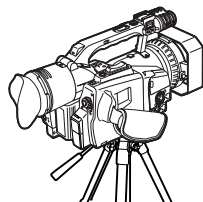
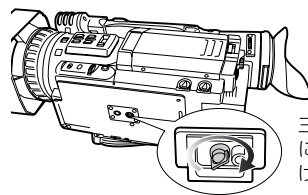
## 端子の保護キャップについて

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

## 三脚の取り付けについて

三脚取り付け穴の深さは、5.5 mmです。本機を三脚に取り付けるときは、三脚のネジを無理に締め付けしないでください。

また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。

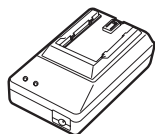


# システム動作確認

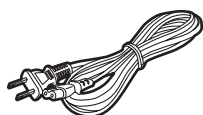
ご購入後、撮影を行う前に、システム動作の確認手順に従って操作を行い、本機が正常に動作することを確認してください。

## 準備する

AC アダプター



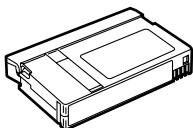
AC コード



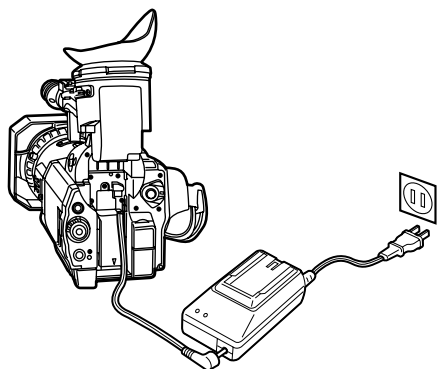
DC コード



ミニ DV カセットテープ



## 電源コードを接続する



- 1 ビューファインダーを起こします。
- 2 DC コードのバッテリー型のコネクタをまっすぐ押しあて、「カチッ」と音がするまで下にすらしめます。
- 3 DC コードを AC アダプターに接続します。
- 4 AC コードをコンセントに接続します。

- 5 ビューファインダーを元の位置に戻します。

図のように正しく接続してください。

- AC アダプターからビデオカメラ本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。

AC アダプターは全世界の電源電圧 (100 V - 240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) で動作するように設計されています。

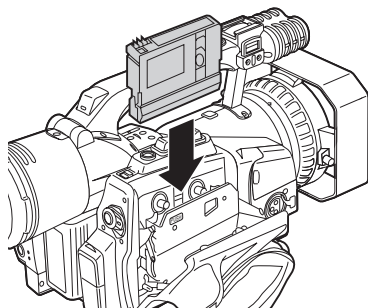
ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

## カセットテープを入れる

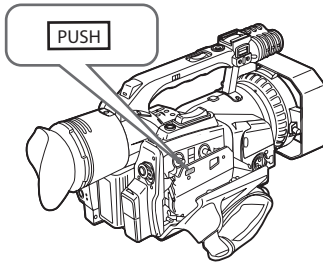
- 1 矢印の方向に EJECT スイッチをスライドさせて、カセットカバーを開きます。最後まで開くと、カセットホルダーが自動的に出てきます。
  - 本機に電源 (AC アダプターまたはバッテリー) がつながっていないと、カセットホルダーが開きません。



- 2 図のようにカセットテープを挿入します。



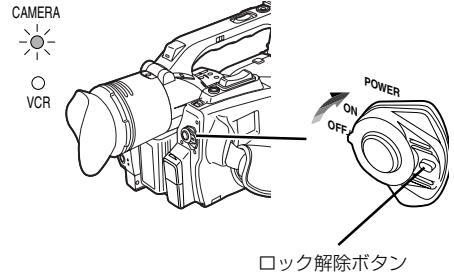
- 3** PUSH が表示されている部分を押し、カセットホルダーを閉じます。  
確実に閉じると、カセットホルダーが自動的に収納されます。



- 4** カセットカバーを閉じます。  
カセットホルダーが完全に収納されてから閉じてください。

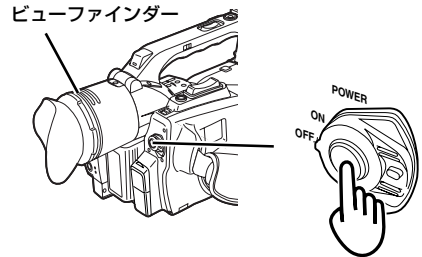
- カセットカバー側だけを持って、テープの出し入れを行わないでください。
- カセットテープの出し入れは、安定した水平な場所に置いて行うか、カセットカバーが開いても安定した状態が保てるように、両手で本機を支えながら行ってください。
- カセットホルダーが動作しているときに、カセットホルダーを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。
- カセットカバーは、カセットホルダーが完全に収納されてから閉じてください。カセットホルダーが動作しているときにカセットカバーを閉じると、故障の原因になります。

## 電源を入れる



ロック解除ボタンを押しながら POWER スイッチを ON の位置まで動かします。  
CAMERA ランプ（赤）が点灯し（カメラモード）、撮影の一時停止状態になります。

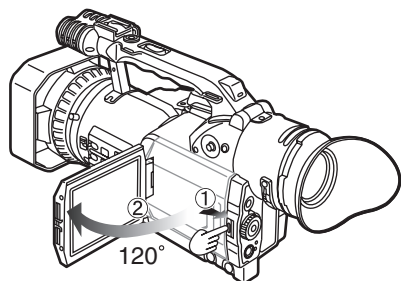
## 撮影する



- 1** ビューファインダーで撮影する映像を確認します。
- 2** POWER スイッチの START/STOP ボタンを押すと、撮影を開始します。  
再度、このボタンを押すと撮影の一時停止状態に戻ります。

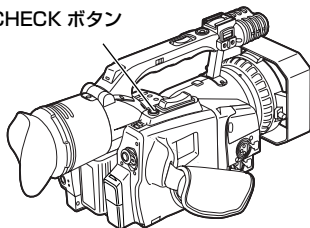
## 撮影した内容を確認する (レックチェック)

- 1 OPEN ボタンを矢印①の方向に押しながら、液晶モニターを開きます。開く角度は、120 度までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります。



- 2 撮影の一時停止状態で REC CHECK ボタンを押します。最後に撮影した部分を 2 ~ 3 秒間再生して、撮影の一時停止状態に戻ります。

REC CHECK ボタン



### 省電力モードについて

撮影一時停止またはスタンバイ状態で約 5 分間、特定の操作 \* が無い場合、設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の POWER SAVE 項目の設定 (→ 83 ページ) によって次のようになります。

#### ON :

自動的に本機の電源を OFF にします。

#### OFF :

電源は切らず、シリンダーヘッドのみ停止状態 (スタンバイ) にします。

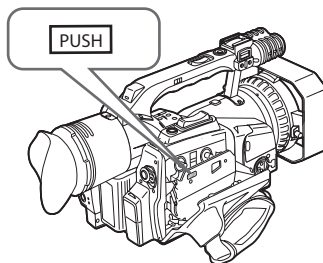
\* 特定の操作については、設定メニュー「POWER SAVE」の項目 (→ 83 ページ) をご覧ください。

## テープを取り出す

- 1 矢印の方向に EJECT スイッチをスライドさせて、カセットカバーを開きます。最後まで開くと、カセットホルダーが自動的に出てきて開きます。
  - 本機に電源 (AC アダプターまたは、バッテリー) がつながないと、カセットホルダーが開きません。



- 2 カセットテープを取り出します。PUSH が表示されている部分を押し、カセットホルダーを閉じます。



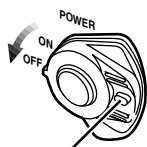
- 3 カセットホルダーが完全に収納されてから、カセットカバーを閉じます。
  - カセットホルダーが動作しているときに、カセットカバーを閉じないでください。故障の原因になります。

- カセットテープを取り出すときも、本機に電源がつながっていることを確認して、EJECT スイッチをスライドさせてください。
- カセットテープを取り出し後すぐに、再びカセットを挿入しない場合は、カセットホルダーを開けておいてください。
- 記録中は、この操作を行わないでください。カセットホルダーは開きますが、記録を継続していますので、外部の光やホコリがテープに悪影響を及ぼします。



## 電源を切る

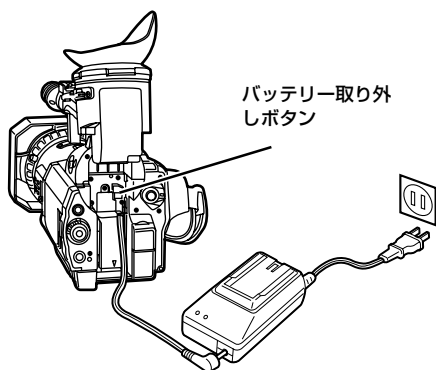
CAMERA  
○  
○  
VCR



### ロック解除ボタン

ロック解除ボタンを押しながら POWER スイッチを OFF の位置まで動かします。  
CAMERA ランプ（赤）が消灯します

## 電源コードを外す



### バッテリー取り外しボタン

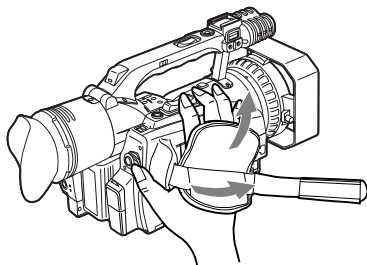
- 1 AC コードをコンセントから外します。
- 2 ビューファインダーを起こします。
- 3 バッテリー取り外しボタンを押しながら、DC コードのバッテリー形コネクタを上にならします。
- 4 ビューファインダーを元の位置に戻します。

• POWER スイッチを OFF にして、CAMERA/VCR ランプが消灯したことを確認してから電源コードを外してください。

## グリップベルトの調節

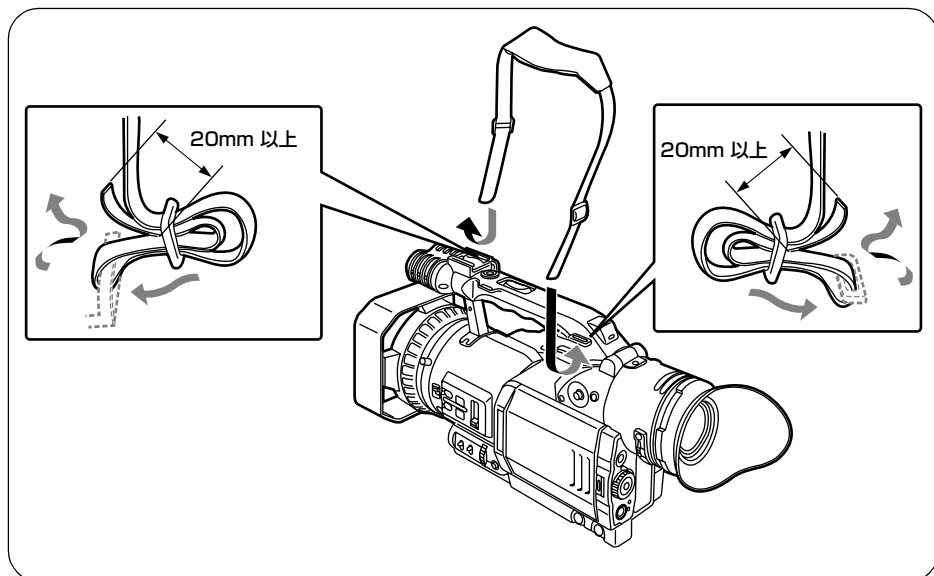
グリップベルトを手の大きさに合わせて調節してください。

- 1 カバーを開き、ベルトの長さを調節します。
- 2 カバーを元に戻します。
  - しっかりとカバーを密着させてください。



## ショルダーベルトの取り付け

ビデオカメラを落とさないように、ショルダーベルトを取り付けることをお奨めします。



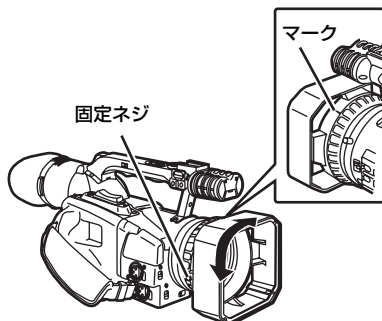
# レンズフードの取り付け

## レンズフードを外す

- 固定ネジをゆるめ、反時計方向にレンズフードを回して外します。

## レンズフードを取り付ける

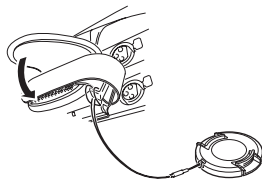
- レンズフードのマークを天面にして、レンズにはめ込みます。
- 時計方向にレンズフードを回して、固定ネジで固定します。



はじめに

# レンズキャップ用ストラップの取り付け

- レンズキャップにストラップを通し、片方をグリップベルトに通します。



# カセットテープについて

- 本機では、下記のミニ DV カセットテープの使用を推奨しています。

AY-DVM30 (SP モードで 30 分)

AY-DVM60 (SP モードで 60 分)

- 80 分用のミニ DV カセットテープは使用しないでください。

- LP モードで撮っても画質は悪くなりませんが、モザイク状のノイズなどが出たり、機能が制限される場合があります。

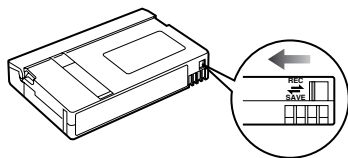
次のようなときにモザイク状のノイズが出たり、正常な再生ができない場合があります。

- 本機で LP モードで撮影したテープを、他のデジタルビデオ機器で再生する場合
- 他のデジタルビデオ機器で LP モードで撮影したテープを、本機で再生する場合
- 本機で LP モードで撮影したテープを、LP モードがないデジタルビデオ機器で再生する場合
- スロー/コマ送り再生をしている場合
- カメラサーチ機能を使用している場合

- LP モードではテープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。

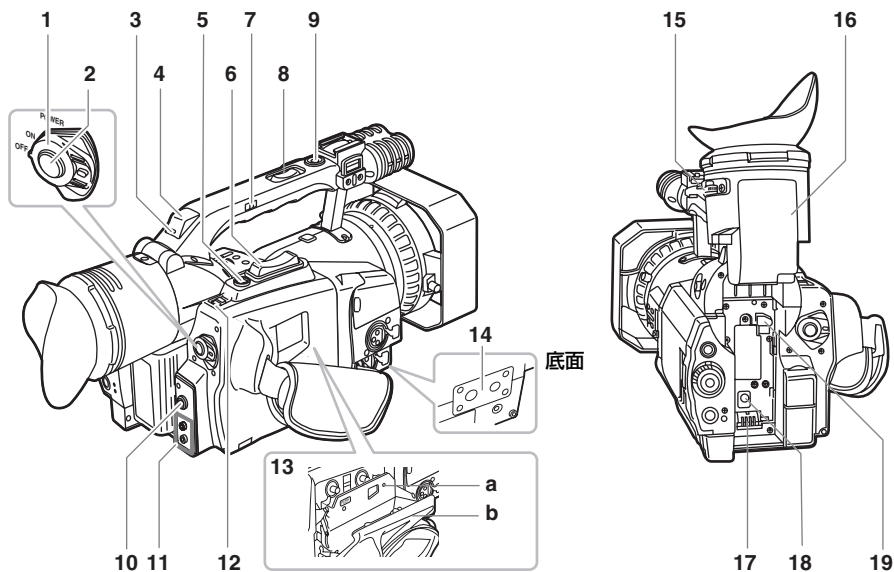
## 誤消去を防ぐには

テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。



# 各部の名称

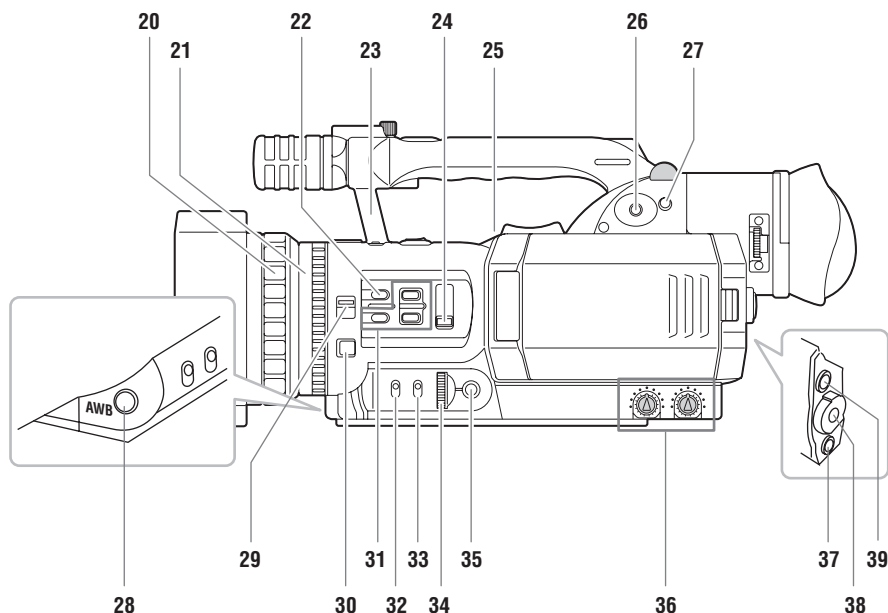
## カメラレコーダー



- 1 POWER スイッチ (⇒ 15 ページ)
- 2 START/STOP ボタン (⇒ 15 ページ)
- 3 タリーランプ (リア) (⇒ 82、87 ページ)
- 4 リモコンセンサー (リア)
- 5 REC CHECK ボタン (⇒ 16 ページ)
- 6 ズームボタン (⇒ 36 ページ)
- 7 HANDLE ZOOM スイッチ (⇒ 36 ページ)
- 8 ズームボタン (ハンドル側) (⇒ 36 ページ)
- 9 START/STOP ボタン (ハンドル側) (⇒ 37 ページ)
- 10 PHONES ジャック (3.5 mm ステレオミニジャック) (⇒ 57 ページ)
- 11 リモート端子\*  
FOCUS/IRIS (3.5 mm ミニジャック)  
リモートコントローラーを接続して、フォーカス (ピント) 操作、およびアイリス (絞り) 操作をリモート制御できます。  
ZOOM S/S (2.5 mm スーパーミニジャック)  
リモートコントローラーを接続して、ズーム操作と記録スタート/ストップの操作をリモート制御できます。
- 12 EJECT スイッチ (⇒ 14 ページ)
- 13 カセット挿入部 (⇒ 14 ページ)
  - a) カセットホルダー
  - b) カセットカバー
- 14 三脚取り付け穴 (⇒ 13 ページ)
- 15 視度調整ダイヤル (⇒ 27 ページ)
- 16 ビューファインダー (⇒ 27 ページ)
- 17 電源端子 (⇒ 14 ページ)
- 18 DC INPUT 端子 (7.9 V)
- 19 バッテリー取り外しボタン (⇒ 17、26 ページ)

\*リモート端子には、リモートコントローラー以外の機器を接続しないでください。リモートコントローラー以外の機器を接続すると、画像が暗くなったり、フォーカスが合わなくなるなど、画像に影響を及ぼします。

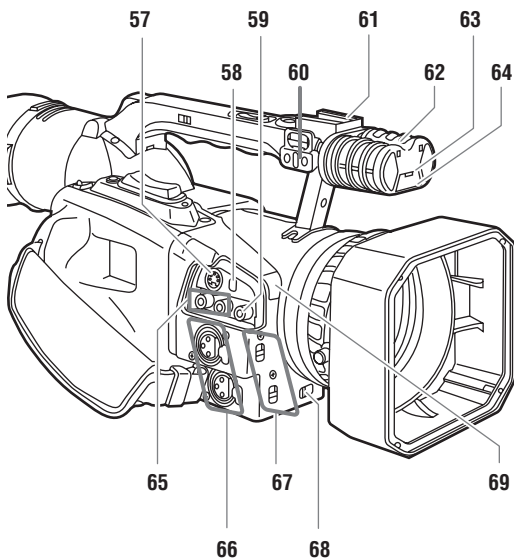
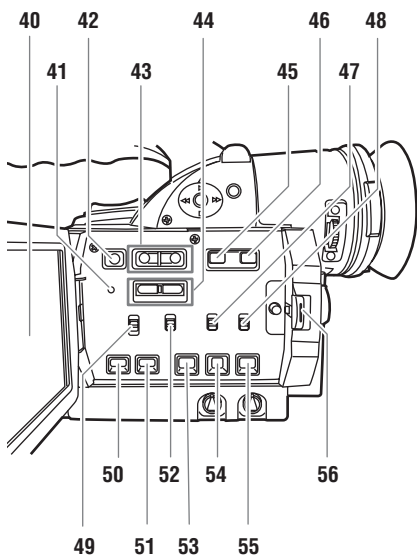
## カメラレコーダー



各部の名前

- 20 フォーカスリング (→ 42 ページ)
- 21 ズームリング (→ 36 ページ)  
ズームリングのピンが不要な場合、23のネジ穴に取り付け、紛失しないようにしてください。
- 22 AUTO ボタン (→ 35、40 ページ)
- 23 ズームリングピン用のネジ穴
- 24 ND FILTER スイッチ (→ 47 ページ)
- 25 内蔵スピーカー (→ 53 ページ)
- 26 OPERATION レバー (→ 36、52、70 ページ)
- 27 MENU ボタン (→ 70 ページ)
- 28 AWB ボタン (→ 51、45 ページ)
- 29 FOCUS スイッチ (→ 42 ページ)
- 30 PUSH AUTO ボタン (→ 42 ページ)
- 31 USER1 ~ 3 ボタン (→ 39 ページ)
- 32 GAIN スイッチ (→ 47 ページ)
- 33 WHITE BAL スイッチ (→ 45 ページ)
- 34 IRIS ダイアル (→ 47 ページ)
- 35 IRIS ボタン (→ 47 ページ)
- 36 AUDIO コントロールつまみ (→ 48 ページ)
- 37 CAMERA/VCR ボタンとランプ (→ 52 ページ)
- 38 シーンファイルダイアル (→ 49 ページ)
- 39 EVF DTL/END SEARCH ボタン (→ 28、55 ページ)

## カメラレコーダー



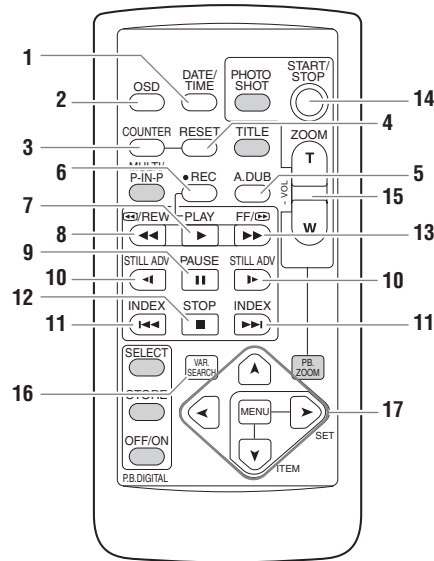
- 40 液晶モニター (→ 13、28 ページ)
- 41 RESET ボタン (→ 87 ページ)
- 42 DISPLAY/AUDIO DUB ボタン (→ 60、69 ページ)
- 43 VCR REC ボタン (→ 62、64 ページ)
- 44 AUDIO MON/VAR ボタン (→ 53、54、55 ページ)
- 45 SHUTTER ボタン (→ 43 ページ)
- 46 SPEED SEL ボタン (→ 43 ページ)
- 47 INPUT1 スイッチ (MIC POWER +48 V) (→ 48 ページ)
- 48 INPUT2 スイッチ (MIC POWER +48 V) (→ 48 ページ)
- 49 CH1 SELECT スイッチ (→ 48 ページ)
- 50 COUNTER ボタン (→ 56 ページ)
- 51 COUNTER RESET/TC SET ボタン (→ 29、56 ページ)
- 52 CH2 SELECT スイッチ (→ 48 ページ)
- 53 MODE CHK ボタン (→ 69 ページ)
- 54 ZEBRA ボタン (→ 37 ページ)
- 55 OIS ボタン (→ 39 ページ)
- 56 OPEN ボタン (→ 28 ページ)

- 57 S-VIDEO IN/OUT 端子 (→ 59 ページ)
- 58 DV 端子 (→ 58 ページ)
- 59 VIDEO IN/OUT 端子 (ピンジャック) (→ 59 ページ)
- 60 マイクロホンシュー (→ 57 ページ)
- 61 ライトシュー
- 62 マイクロホン (内蔵式、ステレオ) (→ 48 ページ)
- 63 タリールンプ (フロント) (→ 87 ページ)
- 64 リモコンセンサー (フロント)
- 65 AUDIO IN/OUT CH1/CH2 端子 (ピンジャック) (→ 59 ページ)
- 66 INPUT 1/2 端子 (XLR、3 ピン) (→ 48、57 ページ)
- 67 INPUT 1/2 スイッチ (→ 48 ページ)
- 68 ZOOM スイッチ (→ 36 ページ)
- 69 ホワイトバランスセンサー (→ 45 ページ)

## リモコン

下記に示すボタンは本機では動作しない機能のボタンです。ご了承ください。

- PHOTO SHOT
- MULTI/P-IN-P
- STORE
- PB.ZOOM
- TITLE
- SELECT
- OFF/ON



- 1 DATE/TIME ボタン (→ 53 ページ)
- 2 OSD ボタン (→ 53 ページ)
- 3 COUNTER ボタン  
ビデオカメラ本体の COUNTER ボタンと同じ働きです。
- 4 COUNTER RESET ボタン  
ビデオカメラ本体の COUNTER RESET ボタンと同じ働きです。
- 5 A.DUB ボタン  
ビデオカメラ本体の AUDIO DUB ボタンと同じ働きです。
- 6 REC ボタン (→ 62 ページ)

### < VCR 操作ボタン >

- 7 PLAY ボタン (▶) (→ 52 ページ)
- 8 ◀/REW ボタン (◀◀) (→ 52 ページ)
- 9 PAUSE ボタン (||) (→ 52 ページ)
- 10 STILL ADV ボタン (◀、▶) (→ 54 ページ)
- 11 INDEX ボタン (◀◀、▶▶) (→ 54 ページ)
- 12 STOP ボタン (■) (→ 52 ページ)
- 13 FF/▶ ボタン (▶▶) (→ 52 ページ)

### < 撮影操作 / 音量調節部 >

- 14 START/STOP ボタン  
本体の START/STOP ボタンと同じ働きです。
- 15 ZOOM/VOL ボタン (→ 36、53 ページ)
- 16 VAR. SEARCH ボタン (→ 55 ページ)
- 17 MENU ボタン  
ビデオカメラ本体の MENU ボタンと同じ働きです。

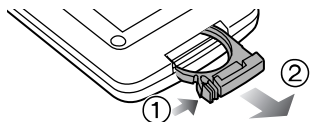
### [◀] [▶] [▲] [▼] ボタン

ビデオカメラ本体の ◀◀、▶▶、▲、▼、ボタンと同じ働きです。

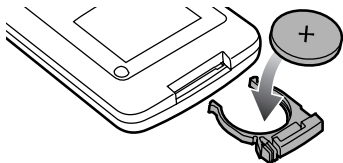
# リモコンについて

## 電池を入れる

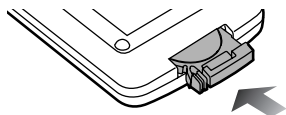
- つまみを矢印①の方向に押しながら、ホルダーを引き抜きます。



- 電池の“+”マークを上に向け、入れます。



- ホルダーを元に戻します。



- 電池 (CR2025) が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です)  
リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- 電池は、**幼児の手の届かない所に置いてください**。

## リモコンの設定

同時に 2 台のビデオカメラを使用したときに、リモコン操作での誤操作を防ぐため、本機と付属のワイヤレスリモコンの設定を、[VCR1] 用または [VCR2] 用に切り替えることができます。

### 設定方法

#### • ワイヤレスリモコン

VCR 操作ボタンの STOP (■) と STILL ADV (▶) を同時に押すと VCR1 用のリモコンに設定されます。

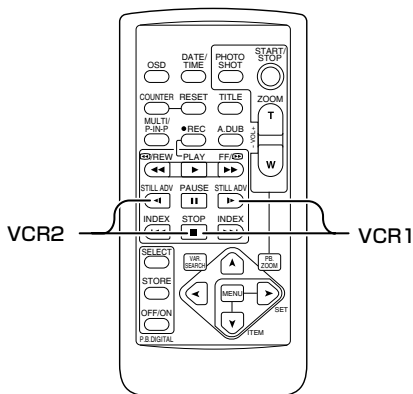
同様に、の STOP (■) と STILL ADV (◀) を同時に押すと VCR2 用のリモコンに設定されます。

リモコンの電池を交換したときは、VCR1 用の設定になります。

#### • ビデオカメラ本体

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の REMOTE 項目で VCR1 と VCR2 を設定します。(→ 82 ページ)

ビデオカメラ本体とリモコンの設定が違うときは、ビューファインダーや液晶モニターに赤い文字の REMOTE が点灯して表示されます。




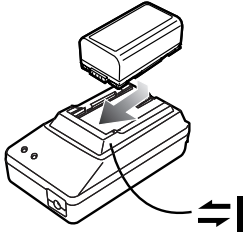


# バッテリーについて

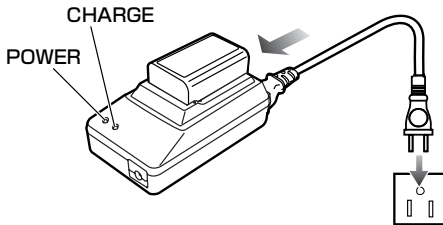
## 充電する

バッテリーを使用する前に、ACアダプターでフル充電を行ってください。  
また、予備のバッテリーを1本用意されることをお奨めします。

- 1 ACアダプターの  マークにそってバッテリーを水平にのせ、スライドさせます。
  - ACアダプターにDCコードを接続している場合は、取り外しておいてください。接続していると、充電できません。

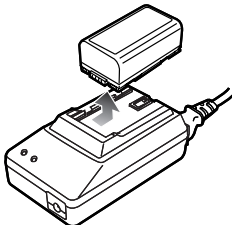


- 2 ACコードをコンセントに接続します。
  - ACアダプターの POWER ランプと CHARGE ランプが点灯し、充電を開始します。
  - バッテリーを取り付けたとき CHARGE ランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付けなおしてください。



- 3 充電が終わると、ACアダプターの CHARGE ランプが消灯します。

- 4 バッテリーをスライドさせて取り外します。



## 付属のバッテリーの充電時間と録画時間

容量	充電時間	連続録画可能時間
5400 mAh	約 330 分	330 分 (約 310 分)

- 上の表は、おおよその時間です。( ) の中は、液晶モニターを使用する場合の時間です。
- 上の表は、動作周囲温度 20℃、動作相対湿度 60% での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。

● バッテリーの端子に、金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートして発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。

● バッテリーは、使用中や充電中には温度が高くなります。またビデオカメラ本体も、同じように温度が高くなります。

● 必要以上に録画と停止を繰り返しますと、録画時間は上の表より短くなります。

● バッテリーは、放電した状態で保管してください。

長期保管する場合、1年に1回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使い切ってから再保管することをおすすめします。

● バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくは、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっているとき、CHARGE ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。

● バッテリーが適温でも、CHARGE ランプが点滅し続けるときは、バッテリーが AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。

● バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。

● ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。

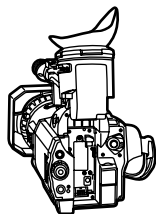
● ACアダプターの使用中に、ACアダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

● ACアダプターからビデオカメラ本体に電源を供給しているときは、バッテリーの充電を行うことができません。

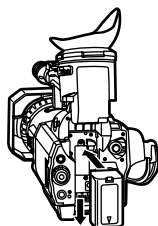
## バッテリーについて (つづき)

### 取り付ける

- 1 ビューファインダーを起こします。



- 2 バッテリーをまっすぐ押しあて、「カチッ」と音がするまで下にずらします。

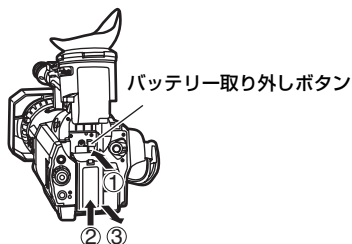


- 3 ビューファインダーを元の位置に戻します。

### 取り外す

- POWERスイッチをOFFにして、CAMERA/VCRランプが消灯したことを確認してからバッテリーを外してください。
- バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

バッテリー取り外しボタンを押しながら、上にずらして外します。



# ファインダーについて

本機のファインダーには、小型の LCD を採用したビューファインダーと、3.5 インチの液晶モニターがあります。用途や撮影条件に合わせて、使い分けてください。

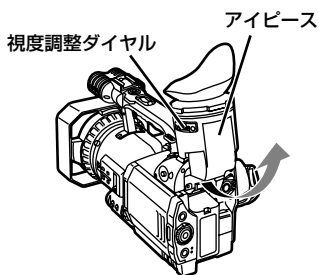
- ビューファインダーや液晶モニターの映像と、モニターテレビの映像とは、明るさや色合いが違う場合があります。最終的な映像は、モニターテレビで確認してください。

## ビューファインダーを使う

- 1 本機の POWER スイッチを ON にし、ビューファインダーに映像が映っていることを確認します。
  - 液晶モニターは閉じたままにしてください。



- 2 ビューファインダーの画面が、一番見やすい位置にします。
  - ビューファインダーは、約 90° まで垂直に起こすことができます。
- 3 視度調整ダイヤルで、ファインダー画面の文字がはっきり見えるように調整します。

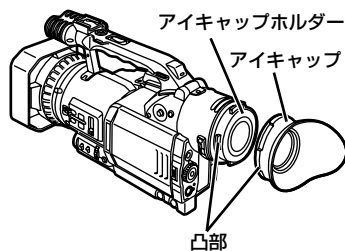


ビューファインダーのアイピースは、太陽に向けたくないでください。  
内部の部品が破損するおそれがあります。

## アイキャップの取り付け

アイキャップを取り付けるときは、アイキャップホルダーとアイキャップの凸部どうしを合わせて取り付けてください。

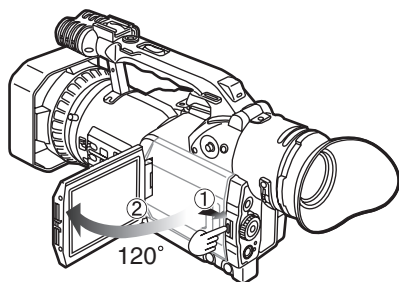
- 取り付け後にアイキャップを回すと、アイキャップホルダーが外れることがあります。アイキャップホルダーが外れたときは、「ビューファインダーのお手入れ」(→ 88 ページ)を参照して取り付けてください。



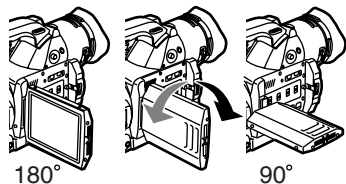
## ファインダーについて (つづき)

### 液晶モニターを使う

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 OPEN ボタンを矢印①の方向に押しながら、液晶モニターを開きます。開く角度は、120 度までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります



- 3 液晶モニターの画面が一番見やすい位置にします。
  - レンズ方向に 180°、手前方向に 90° まで回転します。
  - 開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。



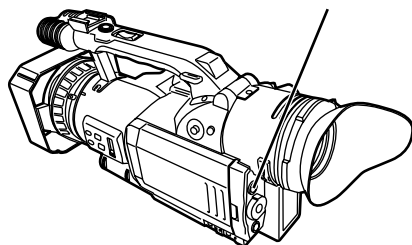
- 液晶モニターを閉じるときは、確実に閉じてください。
- 液晶モニターをレンズ方向へ回転させたとき（対面撮影時）は、ビューファインダーと液晶モニターが同時に点灯します。

### 映像の輪郭を強調する

ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭を強調することで、フォーカスが合わせやすくなります。輪郭を強調しても、記録される映像には影響しません。

- 1 カメラモードのときに EVF DTL/END SEARCH ボタンを押します。
  - 画面中央に「EVF DTL ON」と約 2 秒間表示されます。

EVF DTL/  
END SEARCH ボタン



元に戻すときは、もう一度 EVF DTL/END SEARCH ボタンを押します。このとき画面中央に「EVF DTL OFF」と約 2 秒間表示されます。

EVF DTL/END SEARCH ボタンは、VCR モードのときには、異なる働きになります。  
(→ 55 ページ)

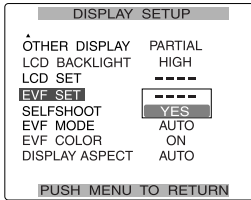
## 画面表示を調整する

- 1** ビューファインダーの画面を調整するとき：  
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の  
EVF SET 項目で YES を選択します。

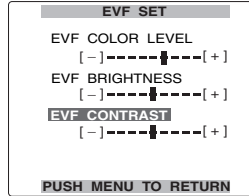
液晶モニターの画面を調整するとき：

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の  
LCD SET 項目で YES を選択します。

- メニューの操作 (→ 70 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 23 ページ)



- 4** EVF CONTRAST 項目を選択し、  
OPERATION レバーを ◀◀ 方向や ▶▶ 方向  
に倒して、画面のコントラストを調整します。



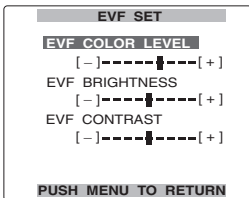
- 5** MENU ボタンを 3 度押し、メニューモード  
を解除します。



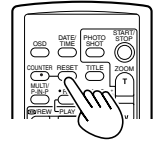
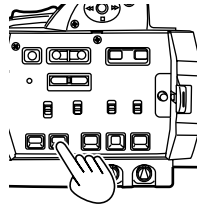
準備

以降の操作は、ビューファインダー画面の調整  
を例に説明しています。液晶モニターの場合  
も、同様に調整してください。

- 2** EVF COLOR LEVEL 項目を選択し、  
OPERATION レバーを ◀◀ 方向や ▶▶ 方向  
に倒して、画面の色濃度を調整します。

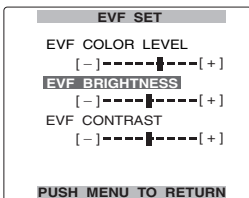


- EVF SET、または LCD SET の各項目を選択  
して設定値を変更可能な状態のとき、  
COUNTER RESET ボタンを押すと、その  
項目の設定値を工場出荷値にすることができ  
ます。



本体 または リモコン

- 3** EVF BRIGHTNESS 項目を選択し、  
OPERATION レバーを ◀◀ 方向や ▶▶ 方向  
に倒して、画面の明るさを調整します。



- 設定メニュー-DISPLAY SETUP 画面の EVF  
MODE 項目で ON を選択すると、液晶モニ  
ターを開いても、常にビューファインダーに  
映像を表示します。
- ビューファインダー表示はカラーとモノクロ  
を選択できます。(設定メニュー-DISPLAY  
SETUP 画面の EVF COLOR 項目) なお解  
像度はどちらも同じです。

# タイムデータについて

## カレンダーを合わせる

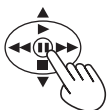
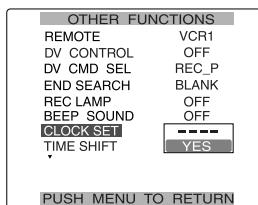
カレンダーを 2005 年 12 月 25 日午後 5 時 20 分に設定する手順を示します。

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。

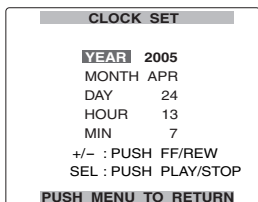


- 2 設定メニュー OTHER FUNCTION 画面の CLOCK SET 項目で YES を選択します。

- メニューの操作 (→ 70 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 23 ページ)

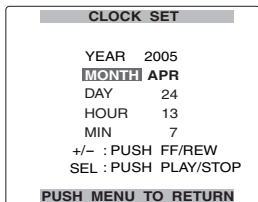


- 3 OPERATIONレバーを◀◀方向や▶▶方向に倒して、YEAR を 2005 にします。

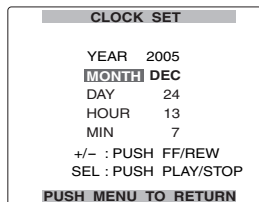


2000 から 2089 まで設定できます。

- 4 OPERATIONレバーを▼方向して、設定の項目を MONTH に移動します。

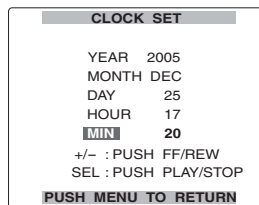


- 5 OPERATIONレバーを◀◀方向や▶▶方向に倒して、MONTH を DEC にします。



- 6 手順 4、5 と同様の方法で、DAY・HOUR・MIN を設定します。

- HOUR は 24 時間表示です。




- 7 MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除します。



時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。

## 内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。ビューファインダーや液晶モニターの画面に [  ] の表示が出るときは、内蔵電池が消耗しています。

以下の方法で充電してください。

充電完了後、日時を設定してください。

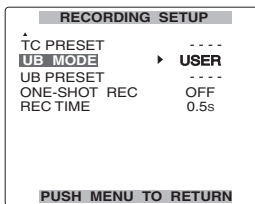
- 1 本機に AC アダプターを接続します。  
(→ 14 ページ)
- 2 本機の POWER スイッチは、OFF のままにします。
- 3 約 4 時間、そのままの状態にしておきます。  
・内蔵電池が充電されます。




## ユーザーズビットを設定する

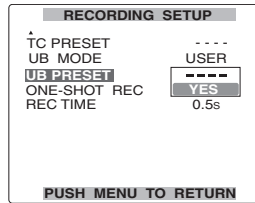
ユーザーズビットを設定することにより、16 進数 8 桁までのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコードトラックに記録できます。

ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

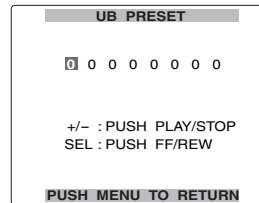
- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の UB MODE で USER を選択します。
  - ・メニューの操作 (→ 70 ページ)
  - ・本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 23 ページ)





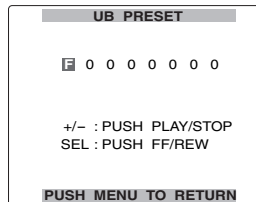
- 4 OPERATION レバー (  ) を押して (または  方向に倒して)、YES に移動し、再度 (  ) を押します。






- 5 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーでユーザーズビットを設定します。

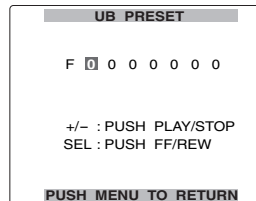
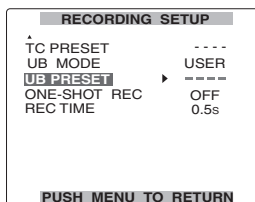


- OPERATION レバーを  方向や  方向に倒して、ユーザーズビットの文字を選択します。
- ・設定できるユーザーズビットの文字は、数字の 0 ~ 9 とアルファベットの A ~ F です。



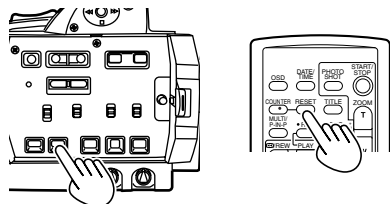
- OPERATION レバーを  方向や  方向に倒して次の桁に移動します。

- 3 OPERATION レバーを  方向に倒して、UB PRESET 項目に移動します。



## タイムデータについて (つづき)

ユーザズビットを設定しているときに、COUNTER RESET ボタンを押すと、ユーザズビットをゼロにリセットします。



本体 または リモコン

### タイムコードを設定する

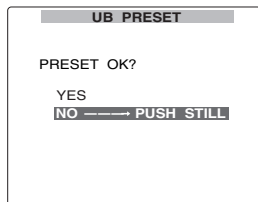
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の下記の項目で、タイムコードに関わる各種の設定を行います。(→ 79 ページ)

- TC MODE 項目
  - TCG 項目
  - FIRST REC TC 項目
  - TC PRESET 項目
  - 1394 TC REGEN 項目 (VCR モードのときにメニュー項目が表示されます。)
- VCR モードのときは、1394 TC REGEN 項目が ON に設定されていると、上記に示す項目の設定を変更することができません。

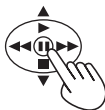
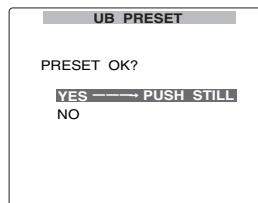
- 6 ユーザズビットの設定が完了したら、MENU ボタンを押します



- 7 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、YES を選択します。



- 8 OPERATION レバー (II) を押します。



- 9 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除します。





## タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)

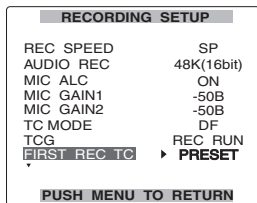
任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、TC PRESET 項目でタイムコード値を設定します。

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。

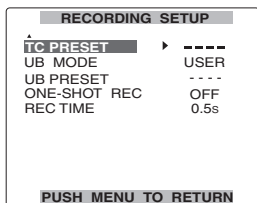


- 2 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の FIRST REC TC 項目で PRESET を選択します。

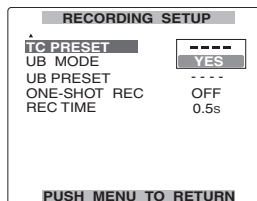
- メニューの操作 (→ 70 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 23 ページ)



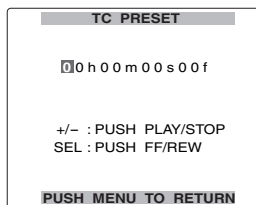
- 3 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、TC PRESET 項目に移動します。



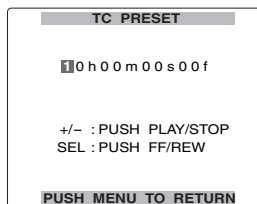
- 4 OPERATION レバー (II) を押し (または ►► 方向に倒し) した後、▼ 方向に倒して YES に移動し、再度 (II) を押します。



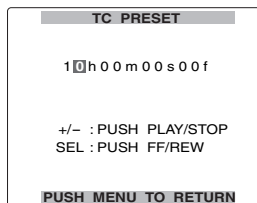
- 5 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーでタイムコード値を設定します。



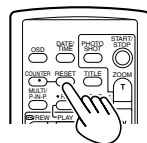
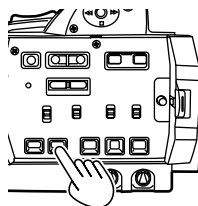
OPERATION レバーを、▲ 方向や ▼ 方向に倒して、タイムコード値を選択します。



OPERATION レバーを ◀◀ 方向や ▶▶ 方向に倒して次の桁に移動します。



タイムコードを設定しているときに COUNTER RESET ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。



本体 または リモコン

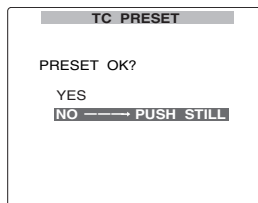
## タイムデータについて (つづき)

---

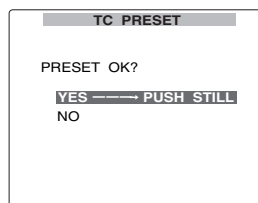
- 6 タイムコード値の設定が完了したら、MENU ボタンを押します



- 7 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、YES を選択します。



- 8 OPERATION レバー (II) を押します。



- 9 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除します。



# 通常の撮影

## 準備と点検

撮影の前に、本機が正常に動作することを確認してください。

また、撮影条件に合わせて、機材の確認をしてください。

### ■ バッテリー (→ 25 ページ)

充電済みのバッテリーを用意します。  
また、予備のバッテリーを1本用意されることをお奨めします。

### ■ カセットテープ (→ 14, 19 ページ)

カセットテープが記録できる状態のテープが確認してください。

- 誤消去防止状態になっていないか。
- 大切な映像が記録されていないか。
- カセットホルダーが確実に閉じているか。

### ■ ビューファインダー (→ 27 ページ)

ビューファインダーの視度調整ができていないかどうか確認してください。

### ■ ズーム / フォーカス / アイリス

- モータードライブでのズーム操作と手動でのズーム操作ができることを確認してください。(→ 36 ページ)
- オートフォーカスと手動でのフォーカスが動作することを確認してください。(→ 42 ページ)
- オートアイリスと手動でのアイリスが動作することを確認してください。(→ 47 ページ)

### ■ タイムデータ (→ 30 ページ)

- カレンダーや時刻が正しいか確認してください。
- タイムコードやユーザーズビットが正しく設定されているか確認してください。


### ■ 音声入力 (→ 48 ページ)

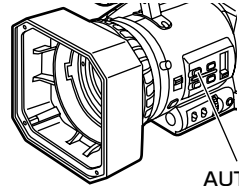
CH1 / CH2 SELECT スイッチが正しい位置になっているか確認してください。

### ■ 外部機器 (→ 57 ページ)

- 接続している外部機器が正常に動作するか確認してください。
- 外部機器が正しく接続されているか確認してください。

## オートモードで撮影する

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 AUTO ボタンを押して、オートモードにします。
  -  がビューファインダーや液晶モニターの上部に表示されます。



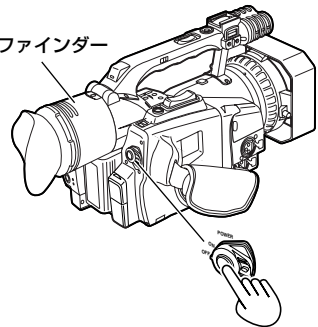
AUTO ボタン

オートモードのときは、下記の調整が自動的に行われます。

- フォーカス (ピント)
- ギン
- アイリス (絞り)
- ホワイトバランス

- 設定メニュー AUTO SW 画面で、オートモードで行う自動調整の動作を変更することができます。(→ 77 ページ)

ビューファインダー



- 3 ビューファインダーで撮影する映像を確認します。
- 4 POWER スイッチの START/STOP ボタン (赤) を押しと、撮影を開始します。再度このボタンを押しと、撮影の一時停止状態に戻ります。

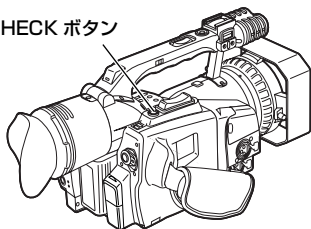
# 目的に合わせて撮影する

## 撮影した映像を確認する (レックチェック)

撮影一時停止状態のときに REC CHECK ボタンを押すと、停止していた直前約 2 秒間の映像と音声を再生し、元の位置で撮影一時停止状態になります。

- 1 秒間以上記録されていない場合は、レックチェック機能は使用できません。
- バックアップ機器を接続してバックアップ映像を記録している場合、このレックチェックの映像が記録されてしまいますので、ご注意ください。

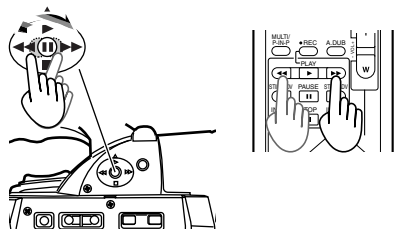
REC CHECK ボタン



## 撮影した場面を探す (イメージサーチ)

撮影の一時停止中、今まで撮影した場面を確認することができます。  
探し出した場面から続けて撮影 (つなぎ撮り) を行うときに便利です。

- 1 撮影一時停止中、OPERATION レバーを▶▶や◀◀の方向に倒します。  
レバーを倒している間、テープを再生、または逆再生します。



本体 または リモコン

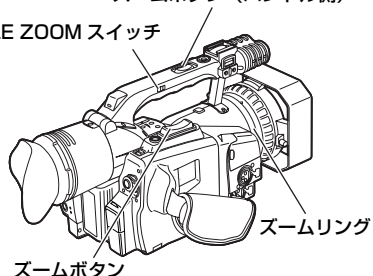
- 2 場面が見つかったら、レバーから指を離します。  
イメージサーチ終了後は、撮影の一時停止状態に戻ります。

## ズーム機能

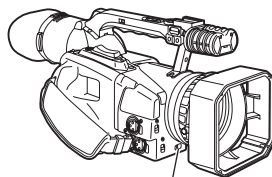
本機は、10 倍光学ズームを備えています。  
ズームボタン、またはズームリングでズーム動作を行います。

ズームボタン (ハンドル側)

HANDLE ZOOM スイッチ



ズームボタン



ZOOM スイッチ

### ズームボタン

ZOOM スイッチを SERVO 位置にすると、ズームボタンでモータードライブによるズーム動作が行えます。

T :ズームイン

W :ズームアウト

ビューファインダー側のズームボタンを軽く押すと低速でズーム動作を行い、強く押すと高速でズーム動作を行います。

ハンドル側のズームボタンで行うズーム動作のスピードは、HANDLE ZOOM スイッチで 3 段階に切り替えることができます。

HANDLE ZOOM スイッチの設定は、設定メニュー SW MODE 画面の HANDLE ZOOM 項目で変更できます。(→ 76 ページ)

### ズームリング

ZOOM スイッチを MANU 位置にすると、ズームリングで手動によるズーム動作が行えます。

- ZOOM スイッチが SERVO 位置のときは手動でズーム操作を行わないでください。故障の原因になります。

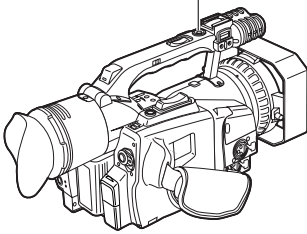
### リモコンでの操作

ZOOM/VOL ボタンを押すと、モータードライブでのズーム動作を行います。  
ズームスピードは中速に固定されています。

## ローアングル撮影

ローアングルで撮影するときは、ハンドル側の START/STOP ボタンで撮影を行うことができます。

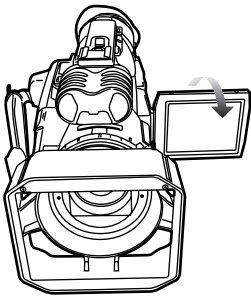
START/STOP ボタン



## 対面撮影

液晶モニターを開き、レンズ側に、180度回転させて撮影者自身を録画すると、撮影した画像が普段と異なる印象を持つ場合があります。設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の SELFSHOOT 項目で MIRROR を選択すると、液晶モニターには、左右が反転した映像が表示され、鏡を見ているイメージで撮影ができます。ただしミラーモードで撮影を行っても、記録された映像は通常に撮影されたものと同じです。鏡に映した状態では記録されません。ミラーモードで撮影する場合、ビューファインダーや液晶モニターに表示される情報が下記に制限されます。

- : 撮影
  - || : 撮影一時停止
  - ▨ : バッテリー残量表示
  - : 警告表示
- を表示した場合、液晶モニターを元に戻して、警告表示の内容を確認してください。



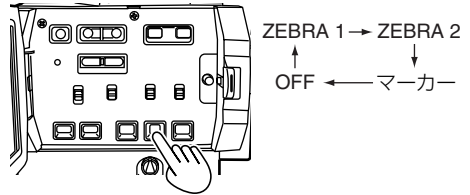
## ゼブラパターン

カメラモード時に ZEBRA ボタンを押すと、ゼブラパターンやマーカが、ビューファインダーや液晶モニターに表示され、被写体の明るさを確認できます。

露出オーバーで白トビが発生する可能性のある部分を、縞模様で表示します。

- 極端に明るい部分
- 光っている部分

ゼブラパターンがなくなるように、マニュアルモードでアイリスやシャッタースピードを調整すると、白トビの少ない映像を得ることができます。ZEBRA ボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。



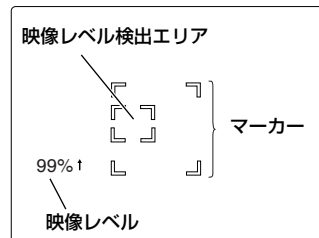
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZEBRA DETECT 1 項目と ZEBRA DETECT 2 項目で、それぞれのゼブラパターンのレベルを設定することができます。(→ 81 ページ)

設定されたゼブラパターンは一定時間(約2秒間)、% で表示されます。

## マーカ

ゼブラパターンを表示しているときに、再度 ZEBRA ボタンを押すと、画面中央にマーカを表示します。(設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の MARKER 項目を ON に設定しているとき)

マーカを表示しているときは、画面中央付近の映像レベルを 0% ~ 99% で表示します。99% を超えるときは、「99% ↑」を表示します。



- 再度 ZEBRA ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

## コマ撮り撮影 (ONE-SHOT REC)

- 1 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の ONE-SHOT REC 項目で、コマ撮り撮影を ON にします。
  - メニューの操作 (→ 70 ページ)**OFF**：コマ撮り撮影を行いません。  
**ON**：REC TIME 項目で設定した秒数の記録を行い、記録一時停止になります。
  - プログレッシブモードの 24P モードや 24P (ADV) モードに設定されている場合は、ONE-SHOT 項目が設定できません。
- 2 REC TIME 項目で記録時間を設定します。(→ 80 ページ)
- 3 START/STOP ボタンを押すと、コマ撮り撮影を開始します。
  - コマ撮り撮影を ON に設定すると、VCR 動作モードの左に「|」が点滅します。記録を開始すると「|」が点灯します。
  - コマ撮り撮影中は、他の操作を受け付けません。
  - コマ撮り撮影中は、テープ残量が表示されません。

コマ撮り撮影を ON に設定しても、電源を OFF にしたときは、コマ撮り撮影が OFF に戻ります。

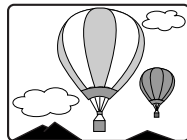
## 映像サイズを変える

本機は、テープに記録する映像のサイズ（アスペクト比）を変えることができます。設定メニュー CAMERA SETUP 画面の ASPECT CONV 項目で選択します。

- メニューの操作 (→ 70 ページ)

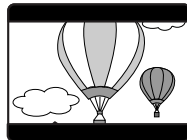
### NORMAL：

標準の 4：3 モードで記録します。



### LETTER BOX：

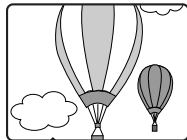
画角を 16：9 にして記録します。画面の上下に黒い帯が記録されます。



### SQUEEZE：

カメラ映像を水平方向に圧縮して記録します。記録された映像をワイド画面に対応したモニターテレビで再生すると、アスペクト比 16：9 の映像になります。

SQUEEZE に設定されているときは、画面に「SQU」が表示されます。



- SQUEEZE に切り替えたとき、一瞬ビューファインダーや液晶モニターの映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- SQUEEZE に設定して記録した映像を再生すると、画質が劣化する場合があります。
- 設定メニューの DISPLAY ASPECT 項目を AUTO または 16:9 に設定した場合は、EVF/LCD は LETTER BOX 表示となります。

## EVF/LCD 表示のサイズ（アスペクト比）を変えるには

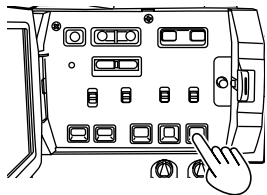
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の DISPLAY ASPECT 項目 (→ 81 ページ) で設定することができます。

## 手ぶれ補正機能

カメラを手にとって撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことで、手ぶれの少ない撮影を行うことができます。

OIS ボタンで手ぶれ補正 ON/OFF の切り替えを行います。手ぶれ補正が ON のときは、ビューファインダーや液晶モニターに (M) が表示されます。

三脚を使用するときは、手ぶれ補正機能を OFF にすることで、自然な映像を得ることができます。



- 大きくぶれたときや、動いている被写体を追いかけてながら撮影した場合、補正しきれないことがあります。

## USER ボタンの活用

USER1 ~ 3 ボタンには、11 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。

被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。

工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。

USER1 : COLOR BAR (カラーバー)

USER2 : BACKLIGHT (逆光補正)

USER3 : INDEX (インデックス記録)

詳しくは、設定メニュー SW MODE 画面の USER1 ~ 3 項目 (➡ 77 ページ) を参照してください。

## 逆光補正

逆光で被写体を撮影するときは、BACKLIGHT 機能を割り当てた USER ボタンを押します。

画面に BACK が表示されます。

逆光補正用のオートアイリス制御を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。

再度、この USER ボタンを押すと、逆光補正を解除します。(マニュアルアイリス時は、逆光補正を解除しても逆光補正状態を維持します。)

## インデックス記録

撮影や記録の最中に INDEX 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、インデックス信号がテープに記録されます。

また、撮影や記録の一時停止状態のときにこの USER ボタンを押すと、インデックス信号の記録待機状態になります。撮影や記録を開始すると、インデックス信号がテープに記録されます。

インデックス信号を記録することで、再生時に検索 (インデックスサーチ) することができます。(➡ 54 ページ)

## カラーバー

カメラモードのときに、COLOR BAR 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、テレビや外部モニターの画質調整に便利な、カラーバーを表示することができます。再度、この USER ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

## 映像に効果を加える

BLACKFADE 機能や WHITEFADE 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、映像に効果を加えることができます。

### BLACKFADE :

ボタンを押し続けると映像全体を黒でフェードアウトします。このとき音声も同様にフェードアウトされます。

### WHITEFADE :

ボタンを押し続けると映像全体を白でフェードアウトします。このとき音声も同様にフェードアウトされます。

### バックアップ記録



DV 端子に接続した外部機器（→ 58 ページ）に、本機のカメラ映像を記録し、自動的にバックアップ記録を行うことができます。

- 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の DV CONTROL 項目と DV CMD SEL 項目で、外部機器の制御方法を設定してください。（→ 82 ページ）

**バックアップ記録を行う場合は、次のことに注意してください。**

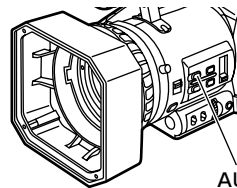
- メニュー項目の設定は、電源を OFF にしても記録されているため、バックアップ記録を行った設定のまま本機を使用すると、接続機器のテープに映像を上書きしてしまうことがあります。バックアップ記録を行った後は、メニュー項目の設定を確認してから本機を操作してください。
- バックアップ記録を行う外部機器として、もう 1 台の AG-DVX100B を使用する場合、外部機器側の DV CONTROL 項目を OFF に設定し、VCR モードにして使用してください。
- バックアップ記録を行う場合、2 台以上の外部機器を接続すると正しく動作しないことがあります。
- 接続するときの DV（IEEE1394）ケーブルの長さは、4.5 m までにしてください。
- バックアップ記録を行うときは、外部機器で DV 信号を記録できる状態にしておいてください。
- DV CONTROL 項目（→ 82 ページ）で「CHAIN」を設定してバックアップ記録を行うと、撮影中に本機のテープが終端付近になったときに、記録待機状態になっているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。
- レックチェックを行うと、その映像も記録されてしまいますのでご注意ください。

### マニュアルモードへの切り替え

AUTO ボタンを押すと、AUTO モード（ 表示が点灯）とマニュアルモード（ 表示が消灯）が切り替わります。

マニュアルモードのときは、下記の調整を手動で行うことができます。

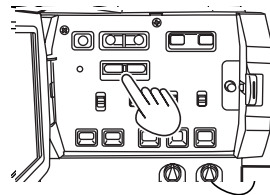
- フォーカス（→ 42 ページ）
- ゲイン（→ 47 ページ）
- 絞り（→ 47 ページ）
- ホワイトバランス（→ 45 ページ）



AUTO ボタン

### 撮影時の音量調整

ヘッドホンで撮影時の音声をモニターしている場合は、AUDIO MON/VAR ボタンで音量を調整することができます。



- 入力音声レベルの調整については → 48 ページ



# プログレッシブモードで撮影する

設定メニュー SCENE FILE 画面の PROGRESSIVE 項目 (→ 75 ページ) で、プログレッシブモードを選択することができます。

## 30P モード：

30 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、30 コマ / 秒の画像を 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

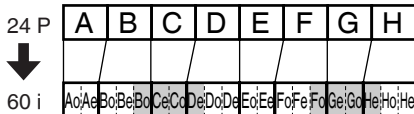
高画質な映像を得ることができます。



## 24P モード：

24 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

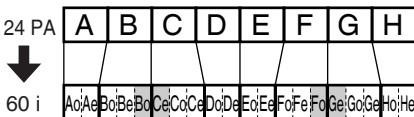
映像信号は、24 コマ / 秒の画像を一般的な [2:3] 変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。映画感覚の映像を得ることができます。



## 24P アドバンスモード

24 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、24 コマ / 秒の画像を、アドバンス変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。



従来の 24P [2:3] 変換方式で編集を行う場合、図の [BoCe] [CoDe] [FoGe] [GoHe] フレームでは、異なるコマの映像を伸張するため、画質の劣化が多くなります。

24P アドバンス変換方式では、図の [BoCe] [FoGe] のフレームを間引くことで、24P モードの画質劣化が少ない映像を得ることができます。また、アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用すると、24P モードに比べ、画質の劣化が少ない編集が実現できます。

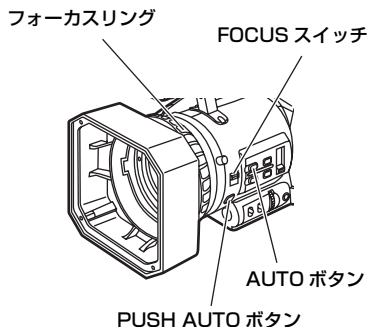
- アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用しない場合は、通常の 24P モードで撮影を行ってください。

プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことに注意してください。

- ゲイン 18 dB にはできません。
- プログレッシブモードを切り替えたときに、映像の同期信号が一瞬乱れます。
- シャッタースピードを 1/50 (OFF) または、1/60 に設定されることをお奨めします。
- 24P モードと 24P アドバンスモードで撮影を行うときは、5 フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。また、記録の最小時間は約 3 秒になります。

# ピントを合わせる（フォーカス）

本機は、自動的にピントを合わせるオートフォーカスと、手動で合わせるマニュアルフォーカスを切り替えることができます。



- 1 本機がオートモードになっている場合は、AUTO ボタンを押して、マニュアルモードに切り替えます。（**A**表示が消えます）
- 2 FOCUSスイッチでフォーカスの制御方法を切り替えます。  
**A (AUTO) :**  
オートフォーカスモード  
自動的にピントを合わせます。  
**M (MANUAL) :**  
マニュアルフォーカスモード  
フォーカスリングを手動で制御して、ピントを合わせます。  
**∞ :**  
ピント距離を無限遠に合わせた後、マニュアルフォーカスモードになります。  
∞の位置にしても、FOCUS スイッチは、M (MANUAL) の位置に戻ります。

## 一時的にオートフォーカスモードにする

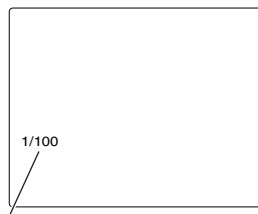
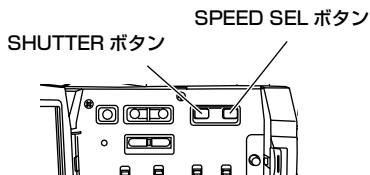
FOCUS スイッチが M (MANUAL) の位置でも、PUSH AUTO ボタンを押している間は、オートフォーカスモードになり、自動で焦点を合わせることができます。

- フリッカーが生じると、オートフォーカスの制御が正しく動作しないときがありますので、照明に適したシャッタースピードを選択してください。（→ 43 ページ）
- プログレッシブモードやスローシャッターモードのときにオートフォーカスモードにすると、フォーカスアシストモードになります。  
自動的にフォーカスを合わせることができますが、通常のフォーカスモードのときよりも、フォーカス制御を行う時間が若干長くなります。

# シャッタースピードを調整する

## 設定できるシャッタースピード

プログレッシブモード	標準 (OFF) のシャッタースピード	SPEED SEL ボタンで選択できるシャッタースピード	
		SYNCHRO SCAN	設定されているシャッタースピード
OFF (60i)	1/60	1/60.3...1/250	1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000
30P	1/50	1/30.1...1/250.0	1/30、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000
24P/24PA	1/50	1/24.1...1/250.0	1/24、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000

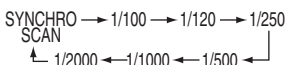


**1** SHUTTER ボタンを押すごとに、標準 (OFF) のシャッタースピードと、SPEED SEL ボタンで選択したシャッタースピードが切り替わります。

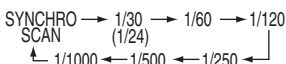
**2** SHUTTER ボタンを押した後に SPEED SEL ボタンを押して、シャッタースピードを選択します。

SPEED SEL ボタンを押すごとに、上記の表のようにシャッタースピードが変化していきます。

プログレッシブモードが OFF(60i) のとき



プログレッシブモードのとき (30P/24P/24PA)



- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれて絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- スローシャッターモード(→ 44 ページ)の状態から SHUTTER ボタンを押しても、ビューファインダーや液晶モニターに「INVALID」が表示され、上記のシャッタースピードに切り替えることはできません。SLOWSHUT を割り当てた USER ボタンでスローシャッターモードを解除してから、上記のシャッタースピードに設定してください。

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目で OFF 以外に設定しているときは、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在設定されているシャッタースピードが表示されます。ただし、標準 (OFF) のシャッタースピードに設定されているときは表示されません。

人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、電源周波数に同期して輝度が変化しています。特に電源周波数が 50 Hz の地域では、本機の垂直同期周波数 (約 60 Hz) と照明の周波数 (50 Hz) がお互いに干渉するため、ホワイトバランスが周期的に変化することがあります。

人工照明下で撮影するときやホワイトバランスを調整するときは、シャッタースピードを下記の設定にして行ってください。

プログレッシブモード	シャッタースピード	
	50 Hz	60 Hz
OFF (60i)	1/100	OFF (1/60)
30P	OFF (1/50)	1/60
24P/24PA	OFF (1/50)	1/60



# シャッタースピードを調整する (つづき)


## スローシャッターモード

1 設定メニュー SW MODE 画面から USER 1 ~ USER 3 のいずれかに SLOWSHUT を割り当てます。(→ 77 ページ)

2 SLOWSHUT を割り当てた USER ボタンを押すとスローシャッターモードになります。SPEED SEL ボタンを押すごとに、下記のようにシャッタースピードが変化していきます。

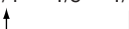
### プログレッシブモードが OFF (60i) のとき

1/4 → 1/8 → 1/15 → 1/30




### プログレッシブモードのとき (30P)

1/4 → 1/8 → 1/15

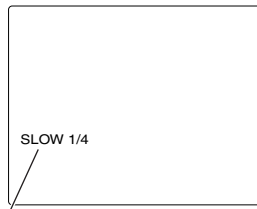


### プログレッシブモードのとき (24P/24PA)

1/6 → 1/12



- スローシャッターモードに入ると、一定期間ビューファインダーや液晶モニターに「PROCESSING…」と表示され、スローシャッターモードのための各種設定を行います。
- 再度 SLOWSHUT を割り当てた USER ボタンを押すと、スローシャッターモードを解除して、スローシャッターモードに入る直前のモードに戻ります。
- スローシャッターモードの状態から電源を切り、再度電源を入れ直すと通常モードになります。
- スローシャッターモード時はゲイン制御ができません。ゲイン値 (0 dB) で固定されます。
- 記録中はスローシャッターモードの設定変更、および解除はできません。
- SPEED SEL ボタンで設定したシャッタースピードを使用している (→ 43 ページ) 状態から SLOWSHUT を割り当てた USER ボタンを押しても、ビューファインダーや液晶モニターに「INVALID」が表示され、スローシャッターモードに切り替えることはできません。SHUTTER ボタンで標準 (OFF) の状態にしているから、スローシャッターモードにしてください。



設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目で OFF 以外に設定しているときは、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在設定されているスローシャッタースピードが表示されます。

## シンクロスキャン

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影するときなどに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードは、設定メニュー CAMERA SETUP 画面の SYNCRO SCAN 項目で設定します。(→ 76 ページ)

- テレビ画面やパソコンのモニター画面の周波数に合わせて、シャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影したときに発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL 方式で再生しているテレビ画面を撮影することもできます。

プログレッシブモードは、設定メニュー SCENE FILE 画面の PROGRESSIVE 項目 (→ 75 ページ) で切り替えることができます。

# ホワイトバランスを調整する

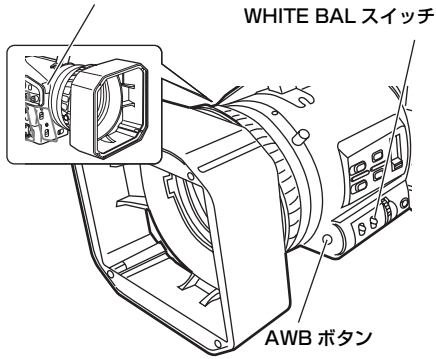
マニュアルモードで撮影する場合、照明条件が変わったときには、必ずホワイトバランスを調整し直してください。

ホワイトバランスの調整値は、WHITE BAL スイッチの A と B の位置にメモリーすることができます。

また、あらかじめメモリーされているプリセット値を使うこともできます。


撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

## ホワイトバランスセンサー



ホワイトバランスセンサーで、撮影時の光源を検知してホワイトバランスを調整していますので、センサーを手などでふさがないようにください。

## ホワイトバランスの調整

- 1 本機がオートモードになっている場合は、AUTO ボタンを押して、マニュアルモードに切り替えます。(  表示が消えます)
- 2 シャッタースピードを設定します。
- 3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面全体に白を写します。  
被写体近くの白い物(白布、白壁)を代用することもできます。
  - 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 4 WHITE BAL スイッチを A または B の位置(ホワイトバランスの調整値をメモリーする位置)にします。

- 5 AWB ボタンを押します。
  - 数秒で調整が完了します。  
(図のようなメッセージが表示されます。)

### 調整中のメッセージ

AWB Ach ACTIVE

### 調整終了時のメッセージ

AWB Ach OK

ホワイトバランスの自動調整ができていないときは、ビューファインダーや液晶モニターの画面にエラーメッセージが表示されます。

- ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイト機能が動作しているときは、ホワイトバランスの自動調整ができません。

### 調整できないときのメッセージ

AWB Ach NG

エラーメッセージ	調整方法
LOW LIGHT	光量を多くする。 または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量を少なくする。 または、ゲインを下げる。

上記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ホワイトバランスを調整する（つづき）

### プリセット値の利用

ホワイトバランスを調整する時間がないときなどに便利です。

- 1 本機がオートモードになっている場合は、AUTO ボタンを押して、マニュアルモードに切り替えます。（**ⓧ** 表示が消えます）
- 2 WHITE BAL スイッチを PRST の位置にします。  
現在のホワイトバランス値が表示されます。
  - PRST の位置には、3200 K と 5600 K のホワイトバランス値がメモリーされています。  
プリセット値の目安  
3200 K：ハロゲンライト  
5600 K：屋外
- 3 AWB ボタンを押します。  
3200 K と 5600 K のホワイトバランス値が交互に切り替わります。

### ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用するとき
- 標準（OFF）のシャッタースピードやスローシャッターモードに切り替えたとき
- プログレッシブモードと標準（60i）モードを切り替えたとき

AWB ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整します。

更にこのボタンを押し続けると、ブラックバランスの調整を行います。

- AWB ボタンを押すと、まず、ホワイトバランスを調整しますので、ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。
- 記録中は、ブラックバランスの調整を行うことができません。

調整中のメッセージ

ABB ACTIVE

調整終了時のメッセージ

ABB END

### ATW（Auto Tracking White） 自動追尾式ホワイトバランス機能

設定メニュー SW MODE 画面の ATW 項目では、WHITE BAL スイッチ（A/B/PRST のいずれかのポジション）に ATW 機能を割り当てることができます。（➔ 76 ページ）

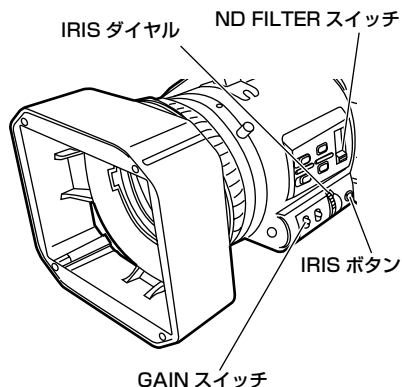
また、工場出荷時の設定では、オートモードで ATW 機能が働くようになっています。（➔ 35 ページ）

ATW 機能を使用して撮影を行うと、常にホワイトバランスを自動的に調整しながら記録を行います。

- ATW 機能は、撮影環境を自動的に判定して、最適なホワイトバランスに調整する機能です。環境によっては、多少の調整誤差が発生することがあります。  
高精度なホワイトバランス調整が必要な場合は、前ページのホワイトバランス調整を行ってください。
- ATW 機能を使用しての撮影時には、ホワイトバランスセンサーを手などでふさがないでください。ATW 機能が正常に働きません。

# 絞り、ゲイン、光量を調整する

撮影する場面や照明に合わせて、絞り、ゲイン、ND FILTER を調整することができます。



## 絞り調整

- 1 本機がオートモードになっている場合は、AUTO ボタンを押して、マニュアルモードに切り替えます。( 表示が消えます)
- 2 IRIS ボタンを押して、レンズ絞りの調整方法を切り替えます。  
**AUTO IRIS : (オートアイリス)**  
絞り値を自動調整します。  
**MANUAL IRIS : (マニュアルアイリス)**  
手でレンズの絞りを調整します。
- 3 マニュアルアイリスになっているときは、IRIS ダイアルを回して、レンズの絞りを調整します。
  - オートアイリスのときでも、レンズの絞りをこのダイアルで補正することができます。

設定メニュー SW MODE 画面の IRIS DIAL 項目では、IRIS ダイアルの回転方向と絞り制御を設定することができます。(→ 76 ページ)

本機におけるレンズ絞りが開放のときの F 値は、レンズズームの広角側 (W) 端で F1.6、望遠側 (T) 端で F2.8 になっています。ビューファインダーや液晶モニターに表示されるレンズ絞りが開放のときのアイリス表示には、広角側 (W) 端で OPEN が表示され、望遠側 (T) 端では F2.8 または OPEN が表示されます。

## ゲイン調整

カメラの画面が暗いときは、ゲインを上げ、画面を明るくすることができます。

- 1 本機がオートモードになっている場合は、AUTO ボタンを押して、マニュアルモードに切り替えます。( 表示が消えます)
- 2 GAIN スイッチで、ゲインを切り替えます。  
L :  
通常は、この位置にします。(0 dB)  
M :  
カメラ映像アンプのゲインを上げます。(工場出荷時は 6 dB)  
H :  
カメラ映像アンプのゲインを上げます。(工場出荷時は 12 dB)

M と H のゲイン値は、設定メニュー SW MODE 画面の MID GAIN 項目と HIGH GAIN 項目で変更することができます。(→ 76 ページ)

## 光量調節

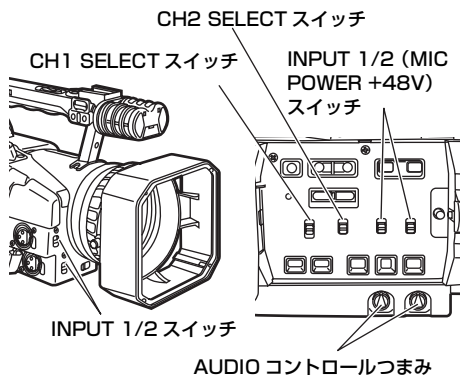
ND FILTER スイッチで、使用する ND フィルター (光量の調節フィルター) を切り替えることができます。

- OFF :  
ND フィルターを使用しません。
- 1/8 :  
光の量を、約 8 分の 1 にカットします。
- 1/64 :  
光の量を、約 64 分の 1 にカットします。

# 入力音声を切り替える

撮影時は、音声記録トラックを2チャンネル使うことができます(下表参照)。また、チャンネル1、2のそれぞれに記録する入力音声を、内蔵マイク、外部マイク、および接続したオーディオ機器に応じて切り替えることができます。

内蔵マイク L	CH1
内蔵マイク R	CH2
INPUT 1 (XLR)	CH1
INPUT 2 (XLR)	CH2



## 内蔵マイクを使う

- 1 CH1 SELECT スイッチを INT (L) の位置にします。
  - 内蔵マイク Lch の音声信号が、音声チャンネル 1 のトラックに記録されます。
- 2 CH2 SELECT スイッチを INT (R) の位置にします。
  - 内蔵マイク Rch の音声信号が音声チャンネル 2 のトラックに記録されます。

## 外部マイクやオーディオ機器を使う

- 1 INPUT 1/2 端子(XLR3ピン)に外部マイクまたはオーディオ機器を接続します。(→ 57 ページ)
- 2 INPUT 1/2 スイッチで、接続した音声入力信号を切り替えます。

**LINE :** (オーディオ機器を接続したとき)  
入力レベルは 0 dBu です。

**MIC :** (外部マイクを接続したとき)  
入力レベルは - 50 dBu です。  
設定メニュー-RECORDING SETUP 画面の MIC GAIN 1 と MIC GAIN 2 項目で入力レベルを - 60 dBu に変更することができます。(→ 79 ページ) ただし、- 60 dBu に設定すると感度が高くなり、ノイズ等が記録される場合があります。

- 3 ファントムマイク(48 V 電源が必要なマイク)を使用する場合は、INPUT 1/2 (MIC POWER +48V) スイッチを ON の位置にします。

**ON :** (ファントムマイクを接続したとき)  
INPUT 1/2 端子に 48V 電源を供給します。

**OFF :** (ファントムマイクを接続しないとき)  
INPUT 1/2 端子に電源を供給しません。

- ファントムマイクを使用すると、バッテリーの持続時間が短くなります。
- + 48 V 電源に対応していない機器を接続するときは OFF の位置にしてください。ON の位置にすると、接続した機器が故障する場合があります。

- 4 CH1 SELECT スイッチで、音声チャンネル 1 のトラックに記録する入力信号を選択します。

**INT (L) :**  
内蔵マイク Lch の音声を記録します。

**INPUT 1 :**  
INPUT 1 端子に接続した機器の音声を記録します。

**INPUT 2 :**  
INPUT 2 端子に接続した機器の音声を記録します。

- 5 CH2 SELECT スイッチで、音声チャンネル 2 のトラックに記録する入力信号を選択します。

**INT (R) :**  
内蔵マイク Rch の音声を記録します。

**INPUT 2 :**  
INPUT 2 端子に接続した機器の音声を記録します。

- 外部マイクの信号を CH1 と CH2 に入力するときは、外部マイクを INPUT 2 端子に接続し、CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチの両方を INPUT 2 の位置にしてください。

## 音声の記録レベルを調整する

AUDIO コントロールつまみで、内蔵マイクロホンや INPUT 1/2 端子(XLR3ピン)に入力された、音声信号の記録レベルを調整します。(モニター音量の調整については → 40 ページ)

通常はセンター位置で使用することをお奨めします。音声信号の記録レベルは、設定メニューの RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目 (→ 79 ページ) の設定に関係なく、このつまみで調整してください。

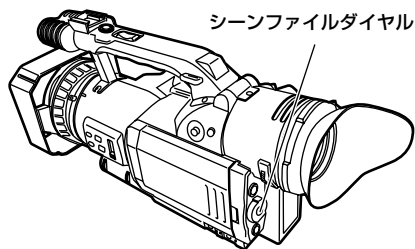
- AUDIO IN/OUT CH1/CH2端子(ピンジャック)に入力された音声信号は調整できません。



# 撮影用の設定を使い分ける (シーンファイル)

各種撮影状況に応じた設定を、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存しています。

撮影時、シーンファイルダイヤルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。



- 記録中にシーンファイルを変更しても、プログレッシブモードは、変更されません。プログレッシブモードを変更する場合は、記録待ち状態にしてください。

工場出荷時の設定では、次のファイルが保存されています。

## F1 : SCENE

標準の撮影に適したファイル。

## F2 : SCENE FLOU.

蛍光灯の特性を考慮した撮影（屋内撮影などの撮影）に適したファイル。

## F3 : SCENE SPARK

被写体にメリハリをつけた撮影（披露宴などの撮影）に適したファイル。

## F4 : SCENE B-STR

暗い部分の階調を広げた撮影（夕暮れなどの撮影）に適したファイル。

## F5 : SCENE 24P

プログレッシブ 24P モードの撮影に適したファイル。

## F6 : SCENE ADVANC

プログレッシブ 24P アドバンスモードのファイル。

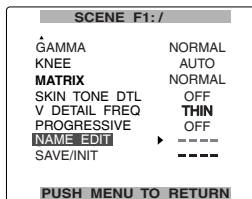
## シーンファイルの設定変更

シーンファイルの設定値は、変更することもできます。

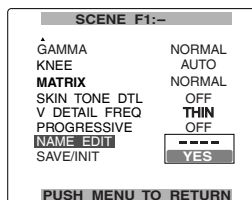
また、変更したシーンファイルを、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存することもできます。

例：シーンファイルのファイル名を変更する

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 シーンファイルダイヤルを回して、変更するシーンファイルを選択します。
- 3 設定メニュー SCENE FILE 画面を選択します
  - メニューの操作 (→ 70 ページ)
  - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 23 ページ)
- 4 OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、NAME EDIT 項目に移動します。



- 5 OPERATION レバー (II) を押し (または ►► 方向に倒し) た後、▼ 方向に倒して、YES に移動します。

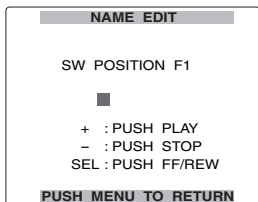


## 撮影用の設定を使い分ける（シーンファイル）（つづき）

- 6** 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーで 6 文字のファイル名を設定します。  
ユーザーズビットの設定と同じ方法（→ 31 ページ）で行います。

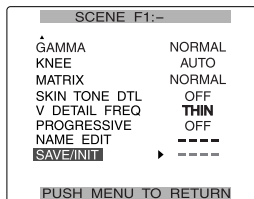
- 設定できる文字

□（スペース） A～Z 0～9 ; < = > ? @  
[ ¥ ] ^ \_ - / .

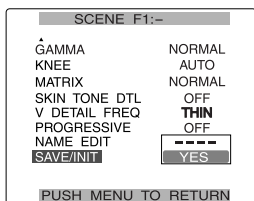


- 7** ファイル名の設定が完了したら、MENU ボタンを押します。

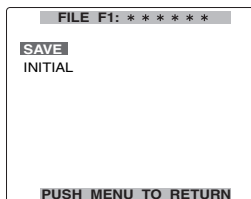
- 8** OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、SAVE/INIT 項目に移動します。



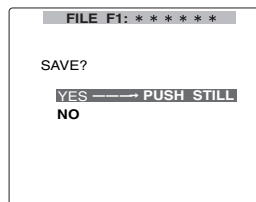
- 9** OPERATION レバー (II) を押し（または ▶▶ 方向に倒し）た後、▼ 方向に倒して、YES に移動します。



- 10** 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバー (II) を押します。



- 11** 下記の画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して YES を選択し、OPERATION レバー (II) を押します。



- 12** ビープ音が連続 10 回鳴り、下記のメッセージが表示され、シーンファイルの変更が完了します。



- 13** MENU ボタンを 3 度押しして、メニューモードを解除します。

- SAVE を行わないで、メニューモードを解除した場合、VCR モードに切り替えたときや電源を OFF にしたときは、シーンファイルの設定値が、元に戻ります。
- シーンファイルの設定値を工場出荷時の設定に戻す場合は、ステップ 10 で INITAL を選択して、ステップ 11～13 を同様に行います。

# シーンファイル転送機能を使う

DV (IEEE1394) ケーブルを使って、以下のシーンファイルデータを、2 台目の DVX100B に転送することができます。

**SCENE** : 選択したシーンダイアル (F1 ~ F6) に設定されているファイル

**SCENE ALL** : 全てのシーンファイル

**USER** : 全てのユーザーファイル

• DVX100B 以外の機器へは転送できません。

**1** 2 台目の機器を DV (IEEE1394) ケーブルで接続する。

(接続のしかたは → 58 ページ)

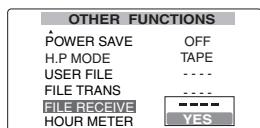
• SCENE を選ぶ場合 (手順 7) は、本機のシーンダイアルを送信したい位置に、転送先の機器のシーンダイアルを受信したい位置に切り替えておいてください。(たとえば、F1 から F2 へ送信することもできます。)

**2** 本機をカメラモードにし、設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の DV CONTROL 項目で OFF を選択します。

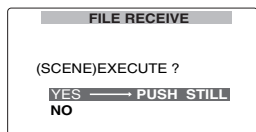
• メニューの操作 (→ 70 ページ)  
• 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称 (リモコン)」をご参照ください。(→ 23 ページ)

**3** 転送先の機器を VCR モードにし、カセットテープの停止中またはイジェクト状態で DV (IEEE1394) ケーブルからの映像信号を入力します。

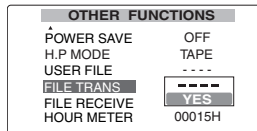
**4** 転送先の機器をファイル受信モードにします。設定メニュー OTHER FUNCTION 画面の FILE RECEIVE 項目で YES を選択してください。



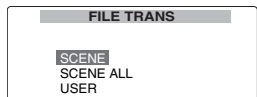
**5** 下記画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して YES を選択し、OPERATION レバー (II) を押します。RECEIVE MODE と点滅表示されます。



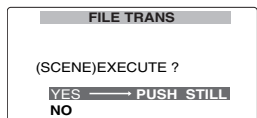
**6** 本機をファイル転送モードにします。設定メニュー OTHER FUNCTION 画面の FILE TRANS 項目で YES を選択してください。



**7** 下記画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▼ 方向に倒して、転送するデータを選択し、OPERATION レバー (II) を押します。



**8** 下記画面が表示されますので、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して YES を選択し、OPERATION レバー (II) を押します。ファイル転送が開始されます。



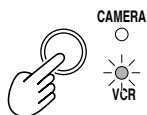
ファイル転送が完了すると、本機の画面に FILE TRANS OK が表示されます。転送先の機器では、FILE RECIVE OK → PLEASE POWER OFF と表示されます。必ず、転送先の機器の電源を切ってください。  
• 転送先の機器の電源を切る場合は、必ず電源スイッチで OFF にしてください。バッテリーや AC アダプターを抜いての電源切りは行わないでください。

ファイル転送中は、DV (IEEE1394) ケーブルを抜き差ししたり、転送先の機器の電源を切ったりしないでください。転送が正常に行えません。






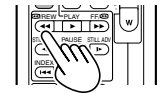



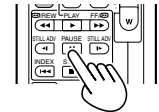
• ファイル転送開始後、転送が正常に行えていない場合は、本機に FILE TRANS NG と表示されます。接続や両機器の設定などを再確認してください。  
• 転送先の機器に RECEIVE MODE と表示されているときは、シーンダイアルを変更しないでください。PROGRESSIVE 設定で OFF (60i) から 24P に切り替わるときに通信が途切れます。(転送先の機器で FILE RECEIVE NG と表示されます。)

# 再生する

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 CAMERA/VCR ボタンを押して、VCR モードに切り替えます。
- 3 OPERATION レバーや付属のワイヤレスリモコンで、通常の再生操作を行うことができます。(下記参照)



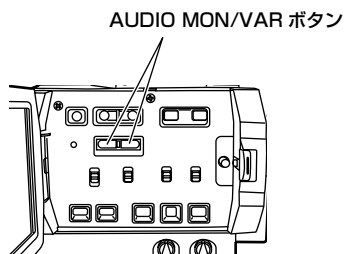
## 基本的な操作

OPERATION レバーでの操作	リモコン
 <p>停止中、▶ の方向にレバーを倒すと、テープを再生します。 再生中、▶ の方向にレバーを倒すと、可変速サーチモード (→ 55 ページ) になり、× 1 倍速でテープを再生します。(音声は再生されません。) リモコンでは可変サーチになりません。</p>	
 <p>停止中、▶▶ の方向にレバーを倒すと、テープを早送りします。 再生中、▶▶ の方向にレバーを倒すと、× 10 倍速でテープを再生します。</p>	
 <p>停止中、◀◀ の方向にレバーを倒すと、テープを巻き戻します。 再生中、◀◀ の方向にレバーを倒すと、× 10 倍速でテープを巻き戻し再生します。</p>	
 <p>■ の方向にレバーを倒すと、テープを停止します。</p>	
 <p>再生中にこのレバーを押すと、一時停止状態になります。</p>	

### テープ保護モード

本機はテープ保護のため、再生一時停止や記録一時停止の状態でも約5分経過すると、自動的に停止状態になります。ただし、低温時の再生一時停止状態では、停止する時間が早くなります。

## 音量を調整する



- 1 AUDIO MON/VAR ボタンで、内蔵スピーカーと PHONES ジャックから出力される音量を調整します。  
リモコンの場合、ZOOM/VOL ボタンを押します。
  - このボタンは、可変速サーチモードや一時停止中には、異なる働きになります。  
(→ 54、55 ページ)

## テレビに接続して見る

AV コードや S 映像コード (別売) を接続すると、テレビで再生映像を見ることができます。

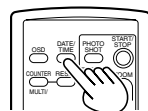
- 1 本機とテレビを接続します。(→ 59 ページ)
- 2 本機を再生します。
  - ビューファインダーや液晶モニターに表示されている情報をテレビ画面に表示するときは、リモコンの OSD ボタンを押します。  
再度、OSD ボタンを押すと、表示が消えます。



## 撮影日時を確認する

リモコンの DATE/TIME ボタンを押すと、撮影した年月日と時刻がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。このボタンを押すごとに、下記の表示に切り替わります。

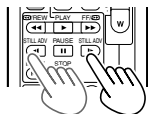
時刻の表示  
↓  
日付の表示  
↓  
時刻と日付の表示  
↓  
元の画面



# 速度を変えて再生する

## スロー再生

- 1 テープ再生中に、リモコンの STILL ADV ボタン (◀または▶) を押します。

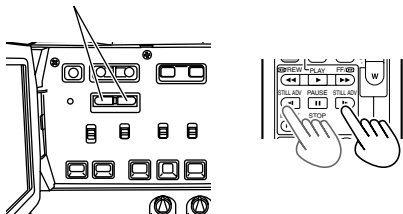


- 通常の再生に戻るときは PLAY ボタン (▶) を押します。

## コマ送り再生

- 1 テープ再生中に、OPERATION レバー (II) を押して、一時停止状態にします。
- 2 AUDIO MON/VAR ボタンを押して、コマ送り再生します。  
リモコンの場合は STILL ADV ボタン (◀または▶) を押します。
  - 押し続けると、連続してコマ送りします。

### AUDIO MON/VAR ボタン

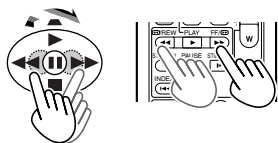


本体 または リモコン

- 通常の再生に戻るときは OPERATION レバーを▶方向に倒します。

## 早送り再生 / 巻き戻し再生

テープ再生中に、OPERATION レバーを▶▶の方向に倒すと、×10倍速でテープを再生します。OPERATION レバーを◀◀の方向に倒すと、×10倍速でテープを巻き戻し再生します。また、レバーを倒したままにすると、その間だけ早送り / 巻き戻し再生を行います。



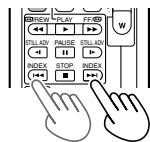
本体 または リモコン

- 通常の再生に戻るときは OPERATION レバーを▶方向に倒します。

## インデックスサーチ

テープに記録されたインデックス信号 (→ 39 ページ) を検索します。インデックスサーチは、付属のワイヤレスリモコンで行うことができます。

- 1 テープの再生中にワイヤレスリモコンの INDEX ボタン (▶▶または◀◀) を押します。
  - ビューファインダーや液晶モニターの画面に [S1] が表示されて、次の場面の頭出しを始めます。
  - 頭出し動作開始後、INDEX ボタンを押すごとに、[S2] [S3] が表示され、2 場面目以降の頭出しをすることができます。頭出しをすると、その部分から再生を始めます。(頭出し指定ができるのは、前後 9 場面目までです。

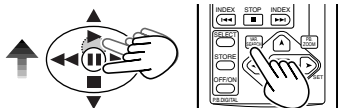


- サーチを途中でやめる場合は、STOP ボタン (■) を押します。
- インデックスとインデックスの間隔が 1 分以内の場合は、うまく動かないことがあります。

## 可変速サーチ

再生速度を変えて、場面を探することができます。

- 1 テープ再生中に、OPERATION レバーを▶方向に倒します。  
リモコンの場合は、VAR. SEARCH ボタンを押します。



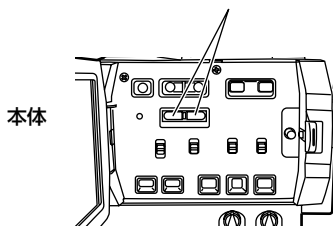
本体 または リモコン

ビューファインダーや液晶モニターに [1×] が表示され、×1倍速でテープを再生します。このとき、音声は再生されません。

- 2 AUDIO MON/VAR ボタンを押して、再生速度を切り替えます。  
リモコンの場合は、SET ボタンの [▼] または [▲] を押します。

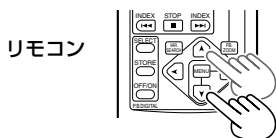
- ボタンを押すごとに 1/5 (LP モードは 1/3) 倍速、1倍速、2倍速、5倍速、10倍速、20倍速と再生速度が変化します。
- + ボタンで正方向に速度を変化させ、- ボタンで逆方向に速度を変化させます。

AUDIO MON/VAR ボタン



本体

または



リモコン

- 通常の再生に戻すときは OPERATION レバーを▶方向に倒します。

## エンドサーチ

無記録部分を検索することや、撮影した最後の部分を検索することができます。

- 1 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の END SEARCH 項目で、検索動作を設定します。(→ 82 ページ)

### BLANK :

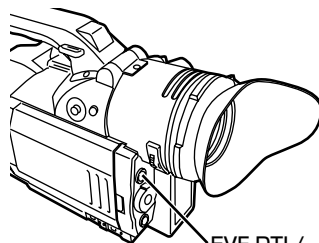
ビデオテープの無記録部分を検索します。

### REC END :

撮影した最後の部分を検索します。

- 2 VCR モードのときは EVF DTL/END SEARCH ボタンを押します。

- ビデオテープの無記録部分を検索し、無記録部分の約 1 秒手前で静止画になります。
- カメラモードのときは EVF DTL/END SEARCH ボタンを 1 秒以上長押しします。
- ビデオテープの無記録部分を検索し、無記録部分の約 1 秒手前で撮影一時停止状態になります。



EVF DTL/  
END SEARCH ボタン

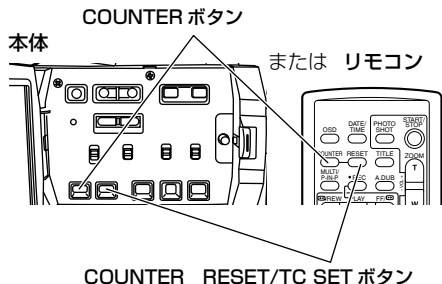
- REC END に設定していても、テープを取り替えると、撮影した最後の部分を検索することができません。
- テープに記録部分がない場合は、テープ終端で停止します。
- テープ始端付近や途中で無記録部分がある場合、正しく動作しないことがあります。
- 記録するときは、検索した画像を確認してから行ってください。

EVF DTL/END SEARCH ボタンは、カメラモードのときには、短く押すと異なる働きになります。(→ 28 ページ)

# カウンターを利用する

## カウンター表示

撮影や再生の経過時間を示すカウンターを表示することができます。



- 1 COUNTER ボタンを押します。  
ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。  
0 : 00. 00 :  
カウンター値の表示  
MO : 00. 00 :  
メモリーストップモードのカウンター値の表示  
TC XX : XX : XX : XX :  
タイムコードの表示  
UB XX XX XX XX :  
ユーザースピットの表示  
FR XXX - :  
プログレッシブモードで撮影を行うときのフレームレート情報 (30P/24P/24PA) とフレーム変換を行うシーケンス情報の表示  
**無表示 :**  
データを表示しません。

### カウンター値をリセットする

カウンター値を表示中に、COUNTER RESET ボタンを押します。

## メモリーストップモード

再生や撮影を行った後、あらかじめ設定した位置付近に戻して、自動的にテープを停止させることができます。

- 1 COUNTER ボタンを押して、メモリーストップモードのカウンターを表示します。
- 2 テープの任意の位置で、COUNTER RESET ボタンを押しカウンター値をリセットします。

- 3 再生や撮影を行います。
- 4 CAMERA/VCR ボタンで、VCR モードにします。
- 5 テープの巻き戻しや早送りを行うと、カウンターのリセットを行った付近で自動的にテープ走行が停止します。

アフレコを行うときに、OUT 点でカウンター値をリセットしておくこと、メモリーストップモードでアフレコを停止することができます。(→ 61 ページ)

## 1394TC プリセットモード

マルチカメラで撮影するとき、TC を同期させることができます。(以下、同期の元となる方を MASTER 側、同期させる方を SLAVE 側と表記しています。)

- 1 2 台の機器を DV (IEEE1394) ケーブルで接続し、電源を入れます。  
(接続のしかたは → 58 ページ)
- 2 MASTER 側を CAMERA モードにし、DV (IEEE1394) 端子から映像信号が出力される状態にします。

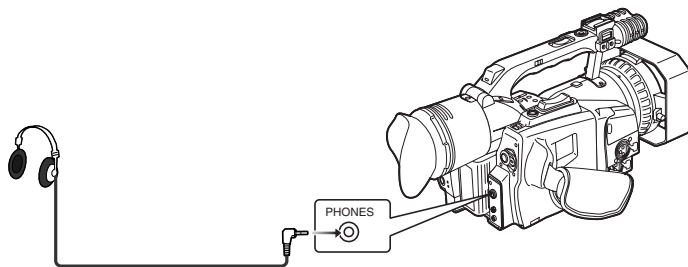
以下は全て SLAVE 側の操作です。

- 3 VCR モードに切り替え、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の FIRST REC TC を PRESET モードにし、カウンターを TC 表示にします。
  - REGEN 設定では行えません。
- 4 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の DV IN PRESET 項目で、ON を選択します。(→ 80 ページ)
  - 画面に DVTC と表示されます。
- 5 カセットテープを停止またはイジェクト状態にします。
- 6 COUNTER RESET/TC SET ボタンを押します。1394 から入力されている TC 値に TCG 値がプリセットされます。
- 7 CAMERA モードに切り替えます。

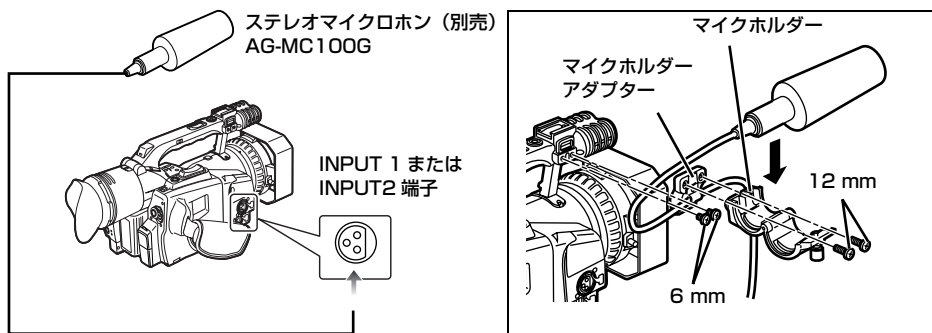


# 外部機器を接続する

## ヘッドホン

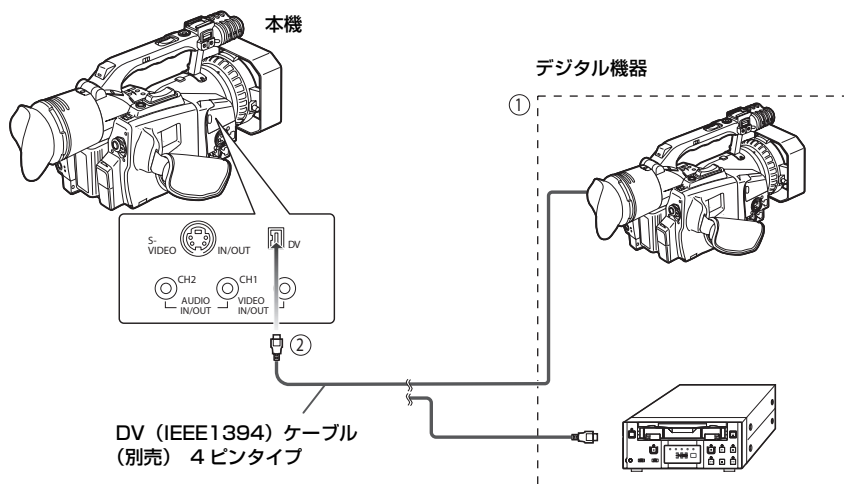


## 外部マイク



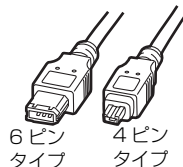
- 外部マイクを本機のマイクロホンシューに取り付ける場合は、付属のマイクホルダーとマイクホルダーアダプターを使用してください。

## デジタルビデオ機器

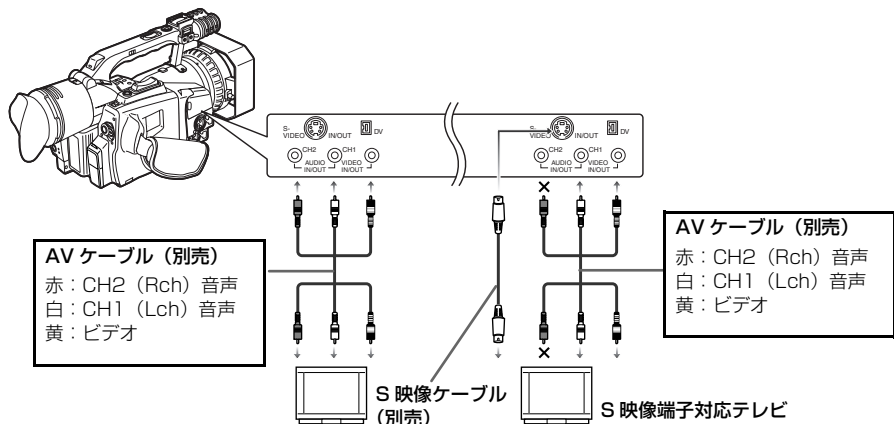


■ DV端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで伝送することができます。

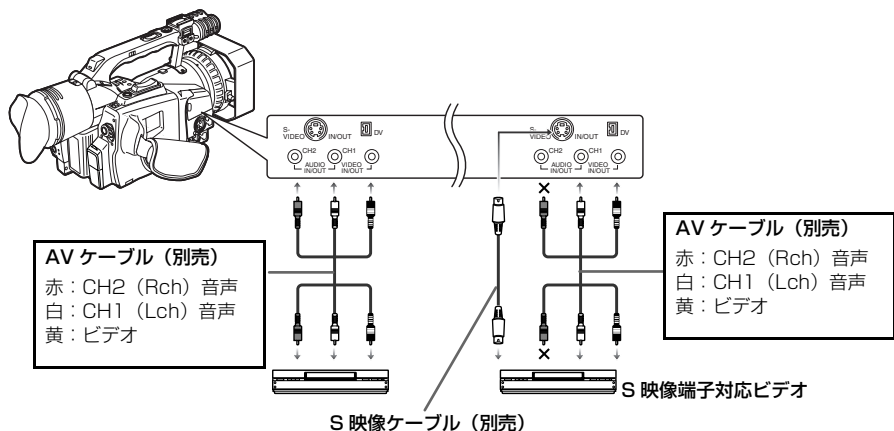
- DV (IEEE1394) ケーブルを接続するときや外すときは、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 6ピンタイプのDV端子を使用している機器と接続する場合、DV (IEEE1394) ケーブルと端子の形状をよく確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。またDV (IEEE1394) ケーブルは、6ピン端子を使用している機器を先に接続してください。(①→②)
- 外部機器からの信号を記録する場合、映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
- 外部機器から信号を記録しているときは、外部機器側で出力を停止したり、ケーブルを抜かないでください。再度記録を行うときに認識できないことがあります。
- DV端子にDV (IEEE1394) ケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。



## テレビ



## ビデオデッキ



■ 外部機器を接続して、外部機器の映像信号や音声信号を本機に入力する場合、外部機器の出力端子に接続します。

■ 外部機器を接続して、本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。

- S-VIDEO IN/OUT 端子と VIDEO IN/OUT 端子の両方に映像信号が入力されている場合、S-VIDEO IN/OUT 端子の信号が優先されます。
- アフレコを行うとき以外は、S-VIDEO IN/OUT 端子や VIDEO IN/OUT 端子に映像信号が入力されていないと、音声信号を記録することができません。

# アフレコ

テープに撮った映像に、BGM やナレーションを入れることができます。

- 1 本機の POWER スイッチを ON にします。
- 2 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目で、音声の記録方式を選択します。
  - メニューの操作 (→ 70 ページ)

## 32K(12bit) :

12bit/32kHz (4 チャンネル) で音声を記録します。

アフレコを行っても、撮影時の音声を残しておく場合は、この設定にしてください。

## 48K(16bit) :

16bit/48kHz (音質の良い 2 チャンネル) で音声を記録します。

アフレコを行うと、撮影時の音声が消えます。

- 3 撮影を行います。
- 4 CAMERA/VCR ボタンを押して、VCR モードに切り替えます。



- 5 設定メニュー AV IN/OUT SETUP 画面の A DUB INPUT 項目で、記録する音声を選択します。
  - メニューの操作 (→ 70 ページ)

## MIC :

内蔵マイクロホンや INPUT 1/2 端子に接続した外部機器の音声を記録します。(CH 1 SELECT スイッチと CH 2 SELECT スイッチで切り替えます。)

## A\_IN :

AUDIO IN/OUT 端子 (ピンジャック) に接続したオーディオ機器の音声を記録します。

- 6 アフレコしたい場面を探し、一時停止状態にします。

- 7 AUDIO DUB ボタンを押して、アフレコの準備状態にします。

リモコンの場合は、A. DUB ボタンを押しません。

- 「A.DUB」が表示されます。

- 8 OPERATION レバーの [III] を押し、音声を入力して、アフレコを開始します。

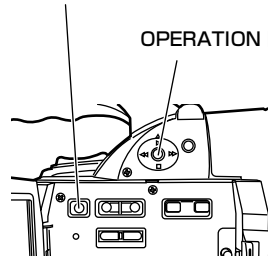
- 9 OPERATION レバーの [III] を押しと、一時停止状態になります。

引き続きアフレコを行うときは、7、8 を繰り返します。

- アフレコを終了するとき、OPERATION レバーを [■] の方向に倒します。

## AUDIO DUB ボタン

## OPERATION レバー



LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。

## 各入力と記録される音声トラック

入力	撮影時	アフレコ時
内蔵マイク L	CH1	CH3
内蔵マイク R	CH2	CH4
INPUT 1 (XLR)	CH1	CH3
INPUT 2 (XLR)	CH2 (CH1)	CH4 (CH3)
AUDIO IN/ OUT CH1 (ピンジャック)	—	CH3
AUDIO IN/ OUT CH2 (ピンジャック)	—	CH4

撮影時に記録する音声トラックは、CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチで変更可能です。アフレコ時に記録する音声トラックは、AV IN/OUT SEUP 画面の A DUB INPUT 項目 (→ 80 ページ) で変更可能です。

### 音声入力レベルを調整する

内蔵マイクロホンや、INPUT 1/2 端子に入力された音声信号の記録レベルを、AUDIO コントロールつまみで調整します。

- AUDIO IN/OUT CH1/CH2 端子に入力された音声信号は調整できません。

### アフレコした音声を聞く

設定メニュー PLAYBACK FUNCTIONS 画面の 32K(12bit) AUDIO 項目で、アフレコした音声と、撮影時の音声を切り替えることができます。(→ 78 ページ)

#### ST1 :

撮影時の音声を再生します。

#### ST2 :

アフレコした音声を再生します。

#### MIX :

撮影時の音声とアフレコした音声を同時に再生します。

### 音声を聞きながらアフレコする

「ST2」に設定すると、アフレコ中の音声を確認できます。

マイク入力でアフレコを行っているときは、ヘッドホンを使うと音声を聞きながらアフレコすることができます。

AUDIO IN/OUT 端子に接続したオーディオ機器でアフレコを行っているときは、スピーカーで音声を聞きながらアフレコすることができます。

### メモリーストップモードを使ってアフレコの編集をする

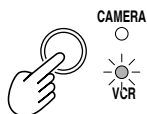
- ① あらかじめ、アフレコを終了させる位置でメモリーストップモードのカウンターをリセットしておきます。(→ 56 ページ)
- ② アフレコを開始する位置までテープを巻き戻して、アフレコを開始します。
- ③ リセットした位置で、自動的にテープが停止します。

# ダビングする

## アナログ入力

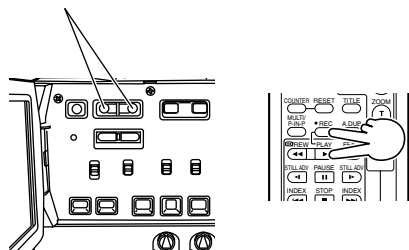
S-VHS (VHS) カセットの内容を DV カセットにダビングしたり、テレビ番組を録画することができます。

- 1 ビデオデッキやテレビを、本機に接続します。  
(➔ 59 ページ)
- 2 CAMERA/VCR ボタンを押して、VCR モードに切り替えます。



- 3 外部機器の電源を入れて、再生を行います。
- 4 VCR REC ボタンの2つのボタンを同時に押すと、接続している機器からの映像信号を記録します。  
リモコンの場合は、REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。

### VCR REC ボタン



本体 または リモコン

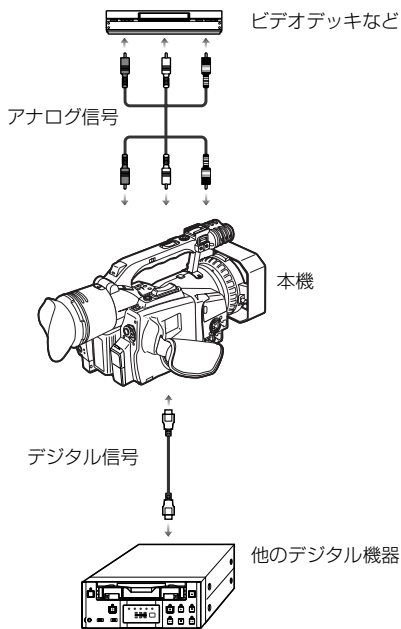
- 再生一時停止の状態では、この2つのボタンを同時に押すと記録待機状態になります。  
OPERATION レバーの [■] を押しごとの、記録と記録待機状態を切り替えます。
- 5 終了するときは、OPERATION レバーを [■] の方向に倒します。
  - 6 外部機器の再生を終了させます。

音声レベルの調整はできません。

## AD (アナログ / デジタル) 変換について

設定メニュー AV IN/OUT SETUP 画面の DV OUT 項目で「ON」を選択すると、本機を AD (アナログ / デジタル) 変換として使うことができます。(➔ 80 ページ)

外部機器からアナログ信号で入力した映像を、本機の DV 端子を通して、他のデジタルビデオ機器にデジタル信号で出力することができます。

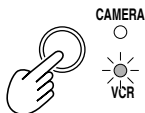


- 通常は DV OUT 項目を「OFF」にしておいてください。「ON」に設定していると、映像が乱れることがあります。
- S 映像ケーブルも使用できます。
- 各機器の接続について (➔ 57、58、59 ページ)

## アナログ出力

本機で撮った映像を、ビデオデッキを使って S-VHS (VHS) カセットにダビングすることができます。

- 1 ビデオデッキを、本機に接続します。  
(→ 59 ページ)
- 2 CAMERA/VCR ボタンを押して、VCR モードに切り替えます。



- 3 OPERATION レバーを [▶] の方向に倒して、本機を再生します。
- 4 ビデオデッキの記録を開始します。
- 5 ビデオデッキの記録を終了させます。
- 6 OPERATION レバーを [■] の方向に倒して、再生を終了します。

# ダビングする (つづき)

## デジタル入出力

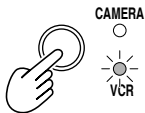
DV 端子 (IEEE1394) を持ったデジタルビデオ機器と本機とを、DV (IEEE1394) ケーブルで接続すると、デジタル信号による高画質なダビングを行うことができます。

接続したデジタルビデオ機器の取扱説明書もご覧ください。

1 デジタルビデオ機器を、本機に接続します。  
(→ 58 ページ)

2 再生側の機器と録音側の機器を VCR モードに切り替えます。

- 本機の場合、CAMERA/VCR ボタンを押します。

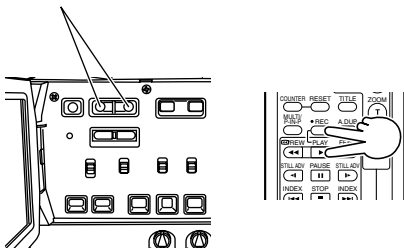


3 再生側で再生を行います  
本機の場合、OPERATION レバーを [▶] の方向に倒します。

4 記録側の機器で記録を開始します。

- 本機の場合、VCR REC ボタンの 2 つのボタンを同時に押します。また、リモコンの場合は、REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。

VCR REC ボタン



本体 または リモコン

- 本機の再生一時停止の状態、この 2 つのボタンを同時に押すと記録待機状態になります。

OPERATION レバーの [■] を押すごとに、記録と記録待機状態を切り替えます。

5 記録側の記録を終了します。

- 本機の場合、OPERATION レバーを [■] の方向に倒します。

6 再生側の再生を終了します。

- 本機の場合、OPERATION レバーを [■] の方向に倒します。

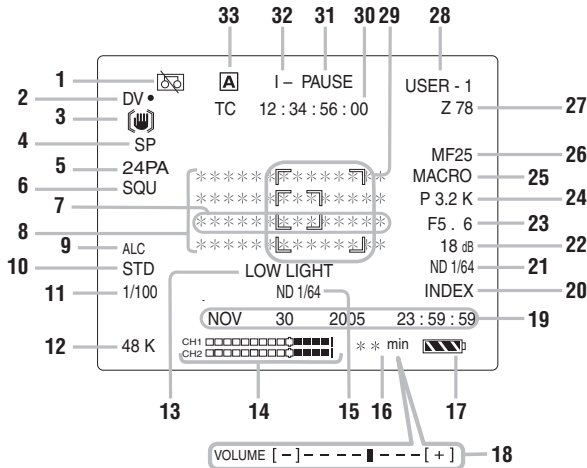
●デジタルダビングを行ったときの音声は、記録側のメニュー設定に関係なく、再生側のテープと同じ音声モードで記録されます。

●記録側のメニューで、1394TC リジエネ項目や 1394UB リジエネ項目を ON に設定してダビングを行うと、再生側のタイムコードやユーザービットをコピーすることができます。(→ 79 ページ)

このとき、再生側の映像を受信していることを、記録側の画面で確認してから記録を開始してください。

記録側で受信していないときに記録を開始すると、タイムコードやユーザービットを正しくコピーできない場合があります。





### 1 ワーニング情報表示

#### REMOTE :

ワイヤレスリモコンの機器設定が違う場合、点滅します。



本機内部に結露が発生したときに点灯します。



シリンダーヘッドが汚れているときに点滅します。



カセットテープが挿入されていないときや記録禁止状態のときに点滅します。



カセットテープが終端位置になったときに点滅します。



ミラーモードで対面撮影を行っているときに、本機に異常が発生すると点灯します。



カレンダー用の内蔵電池が消耗しているときに点灯します。

### 2 バックアップ用機器の状態表示

DV 端子に接続されている、バックアップ機器の状態を表示します。

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の DV CONTROL 項目を OFF に設定していると表示されません。

**DV●** : 記録

**DV||** : 記録待機



バックアップ機器が制御できない状態

**DV** : バックアップ機器が未接続

**DV --** : バックアップ機器は接続されていますが、記録や記録待機状態になっていない

### 3 手ぶれ補正 ( ) 表示

手ぶれ補正機能が ON に設定されているときに表示します。

### 4 記録時間モード表示 ( SP/LP )

SP : 標準モード

LP : 長時間モード

### 5 フログレッシブ表示

フログレッシブモードで撮影するときのフレームレート情報を表示します。

### 6 スクイーズ記録表示

設定メニュー CAMERA SETUP 画面の ASPECT CONV 項目で SQUEEZE を選択して ( → 76 ページ ) スクイーズ記録を行っているときや、スクイーズ記録された映像を再生しているときに表示します。

### 7 設定切り替え表示

スイッチを切り替えたり、ボタンを押して設定を切り替えたときに、切り替わった設定を表示します。

### 8 情報表示

状況に応じて、下記のような情報を表示します。

- オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示
- 警告表示 ( → 68 ページ )
- モードチェックボタンを押している間、USER ボタンに割り当てた機能を表示

## 9 マイクレベル自動制御表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目を、ON にしたときに表示します。

## 10 オートアイリス制御表示

**STD** : 標準オートアイリス制御  
**SPOT** : スポットライト用のオートアイリス制御  
**BACK** : 逆光補正用のオートアイリス制御

## 11 シャッタースピード表示

通常は、シャッタースピードを表示します。スローシャッター時は SLOW と表示します。ZEBRA ボタンを押して、マーカーを表示しているとき (➔ 37 ページ) は、画面中央付近の映像レベルを 0% ~ 99% で表示します。99% を超えるときは、「99% ↑」を表示します。

## 12 オーディオ・サンプリング周波数表示

## 13 AWB エラー表示

**LOWLIGHT** :  
 オートホワイトバランス調整時、輝度が低すぎるときに表示します。

## 14 オーディオレベルメーター表示



## 15 推奨 ND フィルター表示

現在の撮影条件下で、推奨する ND フィルターを表示します。

## 16 テープ残量表示

テープ残量の計算中は無表示になります。また、間欠記録やスロー再生を行っているときは、テープ残量が表示されません。

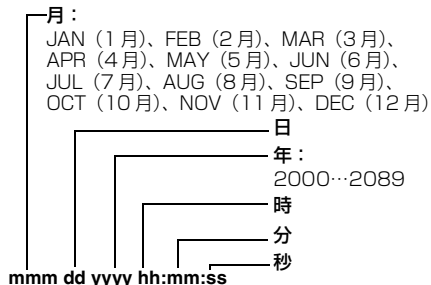
## 17 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、 と変わります。  
 容量が無くなると、 ( ) が点滅します。  
 (AC アダプター使用時に 以外が表示される場合がありますが、問題ありません)

## 18 モニタ音量レベルメーター表示

AUDIO MON/VAR ボタンを押すと、内蔵スピーカーと PHONES ジャックから出力される音量のレベルメーターが表示されます。

## 19 日付と時刻表示



## 20 インデックス記録表示

記録中に、あらかじめ INDEX 機能を割り当てた USER ボタンを押して、インデックス信号を記録するときに点灯します。記録の前に USER ボタンを押すと、点滅します。(インデックス信号記録の待機状態)

## 21 ND フィルター表示

選択している ND フィルターを表示します。  
 [ND—] が表示されているときは、ND FILTER スイッチがずれています。(OFF、1/8、1/64 以外の位置)  
 ND FILTER スイッチの位置を確認してください。

## 22 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。AUTO 設定時は AGC 表示となります。

## 23 アイリス表示

F 値を表示します。

## 24 AWB 情報表示

ホワイトバランスの情報を表示します。  
**ATW** : ATW 設定時  
**P3.2K/P5.6K** : プリセット設定時  
**Ach/Bch** : Ach/Bch 設定時  
**LOCK** : ATW LOCK 設定時

## 25 マクロ制御表示

## 26 フォーカス制御情報表示

99 ~ 00 でフォーカス制御情報を表示します。  
**95** (焦点距離: 無限大)  
 ;  
**50** (焦点距離: 約 1 m)  
**36** 以下 (マクロ範囲)  
 ;  
**00** (焦点距離: 約 2 cm)  
 •ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。  
 また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。  
**AF** : オートフォーカス表示  
**MF** : マニュアルフォーカス表示

## 27 ズームポジション表示

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

## 28 シーンファイル名表示

### 29 マーカー表示

撮影時に ZEBRA ボタンを何度か押すと、マーカーを表示します。

### 30 カウンター表示

COUNTER ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。

#### COUNTER :

カウンター値

#### M COUNTER :

メモリーストップモードのカウンター値

#### TC :

タイムコード値

タイムコード値がテープから正しく読みとれなかったときには、[TC \*] を表示します。ドロップフレームモード連用しているときは、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

#### UB :

ユーザーズビット値

ユーザーズビット値がテープから正しく読みとれなかったときには、[UB \*] を表示します。

#### FR :

撮影するフレームレート情報

FR 60I : 標準 (60i インターレース) モード (60 フィールド / 秒)

FR 30P : 30P プログレッシブモード (30 フレーム / 秒)

FR 24P : 24P プログレッシブモード (24 フレーム / 秒)

FR 24PA : 24P アドバンスモード (24 フレーム / 秒)

FR 24P と FR 24PA のモードのときは、最終桁にフレーム変換のシーケンス情報を表示します。

## 31 動作状態表示

REC : 記録

● : 記録 (対面撮影時)

PAUSE : 記録待機

●|| : 記録待機 (対面撮影時)

|| : 再生一時停止

STNDBY : スタンバイ (シリンダーヘッドを停止)

A. DUB || : アフレコ記録待機

A. DUB ▷ : アフレコ記録

▷ : 再生

▷▷ (<◁◁) : 早送り / 早送り再生 (巻き戻し / 巻き戻し再生)

◁▷ (<◁) : スロー再生 (逆方向スロー再生)

CHK : レックチェック

▷▷ (◁◁) : 頭出し (逆方向頭出し)

◁▷ (<◁◁) : コマ送り再生 (逆方向コマ送り再生)

BLANK : ブランクサーチ

REC END : レックエンドサーチ

× ▷ / × ▷▷ (× ◁ / × ◁◁) :

可変速サーチ (逆方向可変速サーチ)

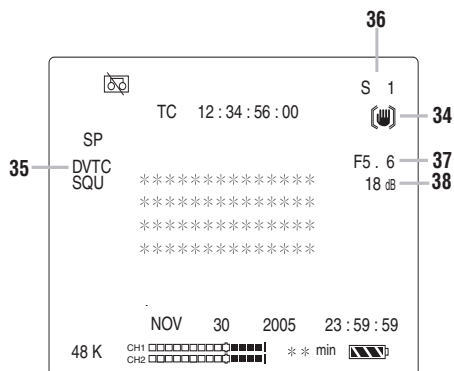
## 32 ONE-SHOT 表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の ONE-SHOT 項目を、ON に設定したときに表示します。

## 33 AUTO ボタン動作表示

AUTO ボタンを押したときに、設定メニューの AUTO SW 画面で設定された機能が動作しているときに表示します。

## VCR モードだけの表示



### 34 手ぶれ補正 (📷) 表示

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON にしていると、手ぶれ補正モードで撮影した場合、カメラデータとしてテープ再生時にも (📷) を表示します。

### 35 DVTC 表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の DV IN PRESET 項目が ON のとき表示します。ただし、設定メニュー FIRST REC TC 項目が REGEN のときは表示されません。

### 36 サーチ番号表示

インデックスサーチを行ったインデックス番号を表示します。(S1 ~ S9)

### 37 アイリス表示

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON にしていると、撮影時の F 値が、カメラデータとしてテープ再生時にも表示されます。

### 38 ゲイン表示

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON にしていると、撮影時のゲイン値が、カメラデータとしてテープ再生時にも表示されます。

## 警告表示

本機やテープなどに関する異常が発生したときは、下記のメッセージを画面中央に表示します。

### UNPLAYABLE TAPE (OTHER FORMAT)

テープフォーマットが違うため、再生することができません。

### COPY INHIBITED

コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。

### UNABLE TO A. DUB (LP RECORDED)

LP モードで記録されているテープなので、アフレコを行うことができません。

### INCOMPATIBLE TAPE

規格が違うテープ (データ保存用テープなど) なので、使用することができません。

### EXTERNAL

#### DV DISCONNECT

設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の DV CONTROL 項目を EXT に設定して、DV 端子に外部機器を接続しないで撮影を行ったときに表示します。

#### AUTO OFF

テープ走行系の異常が発生したときに、AUTO OFF を表示します。AUTO OFF を表示したときは、本機の電源が自動的に OFF になります。

#### CYLINDER LOCK

#### LOADING LOCK

#### UNLOADING LOCK

#### T REEL LOCK (ティクアップリールロック)

#### S REEL LOCK (サブライリールロック)

### WARNING

カメラ系の異常が発生したときに、WARNING を表示します。

#### FOCUS LOCK (フォーカス動作異常)

#### PSD NG (手ぶれ検出異常)

#### GYRO NG (手ぶれ補正制御異常)

### FILE TRANS NG

次の場合に表示されます。

- FILE TRANS 実行時に DV (IEEE1394) ケーブルが接続されていないとき
- FILE TRANS 実行時に、外部接続した機器がデータを受信できなかったとき

### FILE RECEIVE NG

次の場合に表示されます。

- FILE RECEIVE 実行時に DV (IEEE1394) ケーブルが接続されていないとき
- 外部接続した機器が FILE RECEIVE モードに設定されていないとき

## 画面表示内容の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、MODE CHK ボタンを押したときや、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目 (➔ 81 ページ) の設定により表示します。

表示項目	MODE CHK ボタン	OTHER DISPLAY 項目の設定		
		ALL	PARTIAL	OFF
3 手ぶれ補正表示	○	○	○	×
4 記録時間モード表示 (SP/LP)	○	○	× (カメラ) ○ (VCR)	×
5 プログレッシブ表示	○	○	×	×
6 スクイーズ記録表示	○	○	○	×
8 USER ボタンに割り当てた機能の表示	○	×	×	×
9 マイクレベル自動制御表示	○	○	×	×
10 オートアイリス制御表示	○	○	○	×
11 シャッタースピード表示	○	○	○	×
12 オーディオ・サンプリング周波数表示	○	○	× (カメラ) ○ (VCR)	×
14 オーディオレベルメーター表示	○	—	—	—
15 推奨 ND フィルター表示	○	○	○	×
16 テープ残量表示	○	—	—	—
17 バッテリー残量表示	○	—	—	—
19 日付と時刻表示	○	—	—	—
21 ND フィルター表示	○	○	×	×
22 ゲイン表示	○	○	×	×
23 アイリス表示	○	○	○	×
24 AWB 情報表示	○	○	○	×
26 フォーカス制御情報表示	○	—	—	—
27 ズームポジション表示	○	—	—	—
28 シーンファイル名表示	○	○	×	×
30 カウンター表示	○	—	—	—
33 AUTO ボタン動作表示	○	○	○	×

○：表示する。

×：表示しない。

—：他の設定により表示を行います。

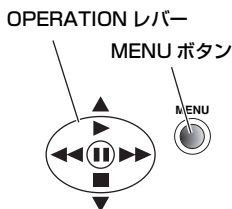
カメラモードで DISPLAY/AUDIO DUB ボタンを約 3 秒間押しすと、上記全ての表示を OFF にします。再度押しすと、元の表示に戻ります。

# 設定メニューの操作

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定を設定メニューで変更することができます。

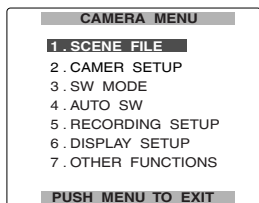
## 設定メニューの操作方法

- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン）」をご参照ください。（➔ 23 ページ）

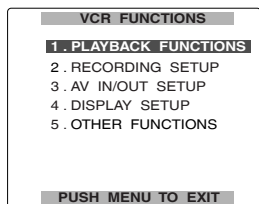


- 1 撮影や記録以外の動作モードのときに、MENU ボタンを押します。メニューモードになり下記の機能画面が、ビューファインダーや液晶モニターに表示されます。

### カメラモード



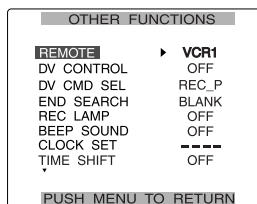
### VCR モード



- 2 OPERATIONレバーを▲方向や▼方向に倒して、設定したい機能に反転表示している部分を移動します。

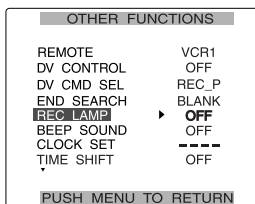
- 3 OPERATIONレバー (II) を押して（または▶▶方向に倒して）、設定項目を表示します。

例：



- 4 OPERATIONレバーを▲方向や▼方向に倒して、設定したい項目に反転表示している部分を移動します。

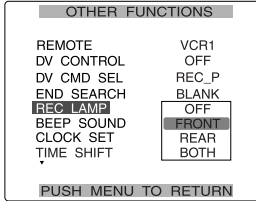
例：



- 5** OPERATION レバー (II) を押し (または ►► 方向に倒し) た後、▲方向や ▼方向に倒して、変更したい設定値に移動します。

数値などを変更するとき、変更する数値の位置に [▶] を移動し、OPERATION レバーを ▲方向や ▼方向に倒して、設定値を変更します。

例：



- 6** 他の項目を変更する場合は、**4** と **5** を繰り返します。

設定を終了する場合は、MENU ボタンを押して、機能画面に戻ります。

- 7** 他の機能を変更する場合は、**2** ～ **5** を繰り返します。

メニューモードを終了する場合は、再度 MENU ボタンを押して、通常画面に戻ります。

## 設定メニューを初期化する

設定メニューは、ユーザーファイルとシーンファイルに分かれており、それぞれを工場出荷時の状態に初期化することができます。

### ユーザーファイル (シーンファイル以外の全項目) を初期化するには

OTHER FUNCTIOS 画面の USER FILE 項目で、INITIAL を選択すると、現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。(→ 83 ページ)

### シーンファイル (SCEN FILE) を初期化するには

6 つのシーンファイルのうち、初期化したいファイルをシーンダイヤルで選択してください。その後、SCENE FILE 画面の SAVE/INIT 項目で INITIAL を選択すると、選択したシーンファイルのみの設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。(→ 75 ページ)

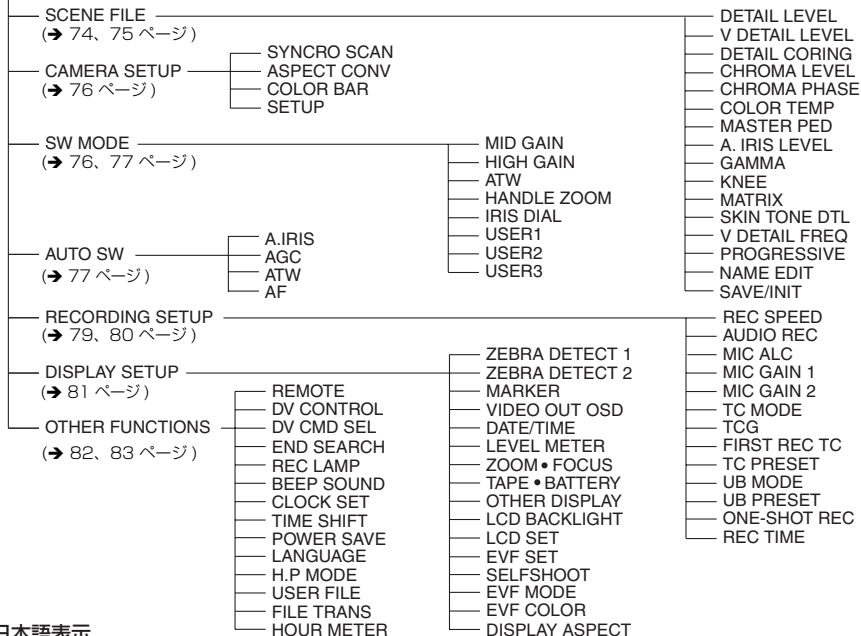
- シーンダイヤルで選択していないファイルには影響を与えません。

# 設定メニューの構成

## カメラモードのメニュー

### 英語表示

#### CAMERA MENU



### 日本語表示

#### カメラメニュー

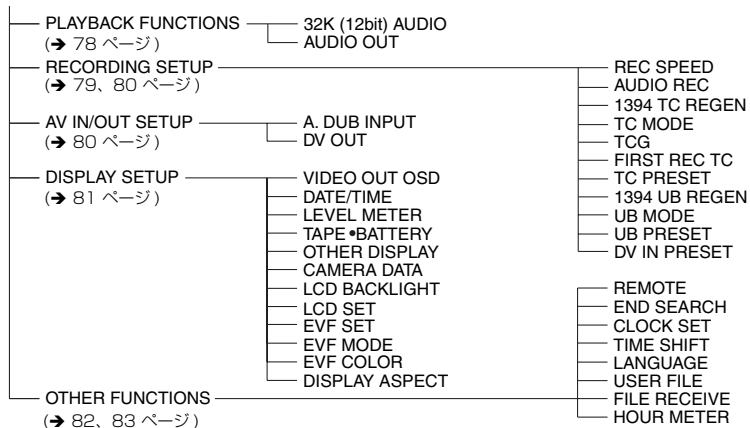




## VCR モードのメニュー

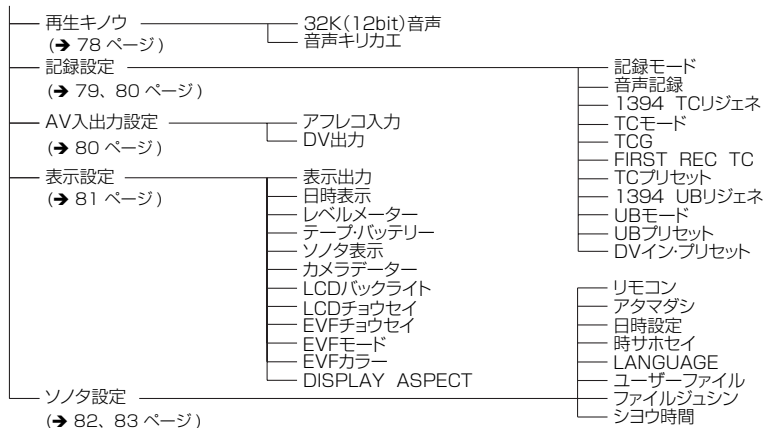
### 英語表示

#### VCR FUNCTIONS



### 日本語表示

#### VCR FUNCTIONS



# 設定メニュー一覧

## SCENE FILE 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
DETAIL LEVEL (カメラ)	ディテール量の調整を行います。 - 7...0...+7
V DETAIL LEVEL (カメラ)	画像垂直方向の輪郭補正の強弱の調整を行います。 - 7...0...+7
DETAIL CORING (カメラ)	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 - 7...0...+7 - 方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 + 方向にするとノイズが少なくなります。
CHROMA LEVEL (カメラ)	クロマレベルの調整を行います。 - 7...0...+7
CHROMA PHASE (カメラ)	クロマ位相の微調整を行います。 - 7...0...+7
COLOR TEMP (カメラ)	色温度の微調整（ホワイトバランス調整を行った後の微調整）を行います。 - 7...0...+7
MASTER PED (カメラ)	映像の基準とする黒のマスターペダスタルの調整を行います。 - 15...0...+15
A. IRIS LEVEL (カメラ)	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 - 4...0...+4

項目 / (表示モード)	設定内容
GAMMA (カメラ)	ガンマカーブを選択します。 LOW : 低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブを使用して、落ち着いた映像にします。コントラストは、シャープになります。 NORMAL : 標準の映像にします。 HIGH : 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストは、ソフトになります。 B.PRESS : LOW よりコントラストをよりシャープにします。 CINELIKE : 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE_D よりノイズの少ない映像になります。 CINELIKE_D : CINE-LIKE に比べダイナミックレンジが高くなります。 CINELIKE_V : コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 • CINE-LIKE ガンマを選択したときは、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く（約 1/2）することをお奨めします。
KNEE (カメラ)	白飛びを押さえるために、CCD が受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル（ニーポイント）を設定します。 AUTO : 受光した信号に応じて自動で設定します。 LOW : 低めの設定（約 80% から圧縮を開始） MID : 中間の設定（約 90% から圧縮を開始） HIGH : 高めの設定（約 100% から圧縮を開始）

\_\_\_\_\_ は工場出荷モードです。

## SCENE FILE 画面 (つづき)

項目 / (表示モード)	設定内容
MATRIX (カメラ)	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 <b>NORMAL :</b> 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行うときに適した色を表現します。 <b>ENRICHED :</b> NORM より鮮やかな色を表現します。 <b>FLOU :</b> 蛍光灯下の屋内で撮影を行うときに適した色を表現します。 <b>CINE-LIKE :</b> 映画感覚の撮影を行うときに適した色を表現します。
SKIN TONE DTL (カメラ)	肌色ディテールの ON/OFF を切り替えます。ON にすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 <b>ON OFF</b>
V DETAIL FREQ (カメラ)	プログレッシブモードで撮影するときの垂直方向のディテールを設定します。 <b>THIN :</b> ディテールを細くします。 <b>MID :</b> ディテールを少し太くします。 <b>THICK :</b> ディテールを太くします。 •「THIN」や「MID」に設定してプログレッシブモードで撮影した映像を、通常のモニターテレビ (60i : インターレース) で再生した場合、水平の線や水平に近い斜めの線に、ちらつき感が生じます。プログレッシブの環境で再生するときは、「THIN」や「MID」に設定することで、「THICK」に設定したときよりも高解像度の映像が得られます。

項目 / (表示モード)	設定内容
PROGRESSIVE (カメラ)	プログレッシブモード撮影の設定を行います。 <b>OFF :</b> プログレッシブモードの撮影を行いません。 <b>30P :</b> 30P モード (30 フレーム / 秒) で撮影を行います。 <b>24P :</b> 24P モード (24 フレーム / 秒) で撮影を行います。テープには、[2 : 3] 変換方式で記録します。 <b>24P (ADV) :</b> 24P アドバンスモード (24 フレーム / 秒) で撮影を行います。テープには、アドバンス変換方式で記録します。
NAME EDIT (カメラ)	シーンファイルダイアルで選択されているシーンファイルの、ファイル名を編集します。
SAVE/INIT (カメラ)	<b>SAVE :</b> 変更したシーンファイルの設定値を、保存します。 •SAVE を行わないで、メニューモードを解除した場合、VCR モードに切り替えたときや電源を OFF にしたときは、シーンファイルの設定値が元に戻ります。 <b>INITIAL :</b> シーンファイルダイアルで選択されている、シーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。

\_\_\_\_\_ は工場出荷モードです。

## CAMERA SETUP 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
SYNCRO SCAN (カメラ)	<p>テレビ画面を撮影するときなどに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。</p> <p>OPERATION レバーを ▲ 方向や ▼ 方向に倒したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなり、ピーブ音が鳴ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>プログレッシブモード OFF :</b> 1/60.3…1/250.0</li> <li>● <b>プログレッシブモード 30P :</b> 1/30.1 …1/48.0 …1/250.0</li> <li>● <b>プログレッシブモード 24P/24PA :</b> 1/24.1 …1/48.0 …1/250.0</li> </ul>
ASPECT CONV (カメラ)	<p>記録する映像のアスペクト比を選択します。(→ 38 ページ)</p> <p><b>NORMAL</b> <b>LETTER BOX</b> <b>SQUEEZE</b></p>
COLOR BAR (カメラ)	<p>カラーバー表示の ON/OFF を切り替えます。</p> <p><b>ON OFF</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● カラーバー表示を ON に設定しても、VCR モードに切り替えたときや電源を OFF にしたときは、カラーバー表示が OFF に戻ります。</li> </ul>
SETUP (カメラ)	<p>セットアップレベル (黒レベル) の付加を設定します。</p> <p><b>0% :</b> セットアップレベルを付加しません。</p> <p><b>7.5% :</b> 7.5% のセットアップレベルを付加して記録します。</p>

## SW MODE 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
MID GAIN (カメラ)	<p>GAIN スイッチの M 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。</p> <p><b>0dB、3dB、6dB、9dB、12dB</b></p>
HIGH GAIN (カメラ)	<p>GAIN スイッチの H 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。</p> <p><b>0dB、3dB、6dB、9dB、12dB</b></p>
ATW (カメラ)	<p>WHITE BAL スイッチに割り当てる、ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能の動作を設定します。</p> <p><b>OFF :</b> ATW 機能を動作させません。ただし、AUTO ボタンや USER ボタンに ATW 機能が設定されている場合は、そのボタンの動作に従います。</p> <p><b>Ach :</b> WHITE BAL スイッチを A の位置に切り替えたときに、ATW 機能を動作させます。</p> <p><b>Bch :</b> WHITE BAL スイッチを B の位置に切り替えたときに、ATW 機能を動作させます。</p> <p><b>PRE :</b> WHITE BAL スイッチを PRST の位置に切り替えたときに、ATW 機能を動作させます。</p>
HANDLE ZOOM (カメラ)	<p>HANDLE ZOOM スイッチの各位置に割り当てる、ズームスピードを設定します。</p> <p><b>L/OFF/H :</b> 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /OFF/HIGH (高速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。)</p> <p><b>L/M/H :</b> 1/2/3 の各位置に、LOW/MID (中速) /HIGH を設定します。</p>
IRIS DIAL (カメラ)	<p>IRIS ダイアルの回転方向と絞り制御を設定します。(MANUAL IRIS モード時)</p> <p><b>DOWN OPEN :</b> IRIS ダイアルを下方向に回したときに、絞りが開きます。</p> <p><b>UP OPEN :</b> IRIS ダイアルを上方向に回したときに、絞りが開きます。</p>

\_\_\_\_\_は工場出荷モードです。

## SW MODE 画面 (つづき)

項目 / (表示モード)	設定内容
USER1 (カメラ)	<p>USER1 ボタンに割り当てる機能の動作を設定します。</p> <p><b>COLOR BAR :</b> カラーバー表示 (→ 39 ページ)</p> <p><b>SPOTLIGHT :</b> スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。</p> <p><b>BACKLIGHT :</b> 逆行補正用のオートアイリス制御 (→ 39 ページ)</p> <p><b>BLACKFADE :</b> ブラックフェード (→ 39 ページ)</p> <p><b>WHITEFADE :</b> ホワイトフェード (→ 39 ページ)</p> <p><b>MODECHECK :</b> ボタンを押すと、現在設定されているカメラの状態が、ビューファインダーや液晶モニターに表示され確認できます。</p> <p><b>ATW :</b> ATW 機能の ON/OFF を切り替えます。</p> <p><b>ATWLOCK :</b> ボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW 機能動作を行います。</p> <p><b>GAIN:18 dB :</b> ボタンを押すと、ゲイン値を 18 dB に設定します。なおプログレッシブモード、スローシャッターモードでは無効になります。 ●ゲイン値を 18 dB に切り替えたときや、18 dB から他のゲイン値に切り替えたときは、画像が一瞬乱れることがあります。</p> <p><b>INDEX :</b> インデックス記録 (→ 39 ページ)</p> <p><b>SLOWSHUT :</b> スローシャッターモード (→ 44 ページ)</p>
USER2 (カメラ)	<p>USER2 ボタンに割り当てる機能の動作を設定します。</p> <p>設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p><b>BACKLIGHT</b></p>
USER3 (カメラ)	<p>USER3 ボタンに割り当てる機能の動作を設定します。</p> <p>設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p><b>INDEX</b></p>

## AUTO SW 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
A.IRIS (カメラ)	<p><b>ON :</b> オートモードのときに、オートアイリス制御の動作を行います。このとき IRIS ボタンは機能しません。</p> <p><b>OFF :</b> オートモードのときに、オートアイリス制御の動作を行いません。IRIS ボタンで選択されているアイリス制御の動作を行います。</p>
AGC (カメラ)	<p>A.IRIS 項目で ON が選択されたときのオートゲイン制御の動作を設定します。</p> <p><b>6dB :</b> オートモードのときに、最大 6 dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p><b>12dB :</b> オートモードのときに、最大 12 dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p><b>OFF :</b> オートモードのときに、オートゲイン制御を行いません。</p>
ATW (カメラ)	<p><b>ON :</b> オートモードのときに、ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能が働きます。このとき WHITE BAL スイッチや USER ボタンでは、ATW 機能動作の ON/OFF を行うことができません。ただし、USER ボタンに ATWLOCK を割り当てているときは、USER ボタンでホワイトバランスの値を固定することができます。</p> <p><b>OFF :</b> オートモードのときに、ATW 機能動作を行いません。WHITE BAL スイッチで選択されている ATW 機能動作を行います。</p>
AF (カメラ)	<p><b>ON :</b> オートモードのときに、オートフォーカスの動作を行います。このとき FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンは機能しません。</p> <p><b>OFF :</b> オートモードのときに、オートフォーカスの動作を行いません。FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンで選択されているフォーカスの動作を行います。</p>

\_\_\_\_\_は工場出荷モードです。

PLAYBACK FUNCTIONS 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
32K(12bit) AUDIO (VCR)	<p>32K (12bit) 音声モードで記録されたテープを再生したときに、CH1 信号と CH2 信号として出力する音声を設定します。</p> <p><b>ST1 :</b> 撮影時に記録した音声を選択します。 CH1 信号 =CH1 トラック CH2 信号 =CH2 トラック</p> <p><b>ST2 :</b> アフレコ記録した音声を選択します。 CH1 信号 =CH3 トラック CH2 信号 =CH4 トラック</p> <p><b>MIX :</b> 撮影時に記録した音声とアフレコ記録した音声をミックスします。 CH1 信号 =CH1 トラック +CH3 トラック CH2 信号 =CH2 トラック +CH4 トラック</p> <p>&lt;ノート&gt; 48K (16bit) 音声モードで記録されている場合、CH3 と CH4 は存在しませんので、常に CH1 信号 =CH1 トラック CH2 信号 =CH2 トラック となります。</p>

項目 / (表示モード)	設定内容
AUDIO OUT (VCR)	<p>テープを再生したときに、AUDIO IN/OUT 端子 (ピンジャック) から出力する音声信号を設定します。</p> <p><b>CH1・CH2 :</b> CH1 端子 =CH1 信号 CH2 端子 =CH2 信号</p> <p><b>CH1 :</b> CH1 端子 =CH1 信号 CH2 端子 =CH1 信号</p> <p><b>CH2 :</b> CH1 端子 =CH2 信号 CH2 端子 =CH2 信号</p>

\_\_\_\_\_は工場出荷モードです。

32K (12bit) AUDIO 項目 /AUDIO OUT 項目の設定と AUDIO IN/OUT 端子 (ピンジャック) から出力される音声トラック

音声記録モード	32K (12bit) AUDIO 項目の設定	AUDIO OUT 項目の設定	AUDIO IN/OUT CH1 の出力	AUDIO IN/OUT CH2 の出力
32K (12bit)	ST1	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2
	ST2	CH1・CH2 CH1 CH2	CH3 CH3 CH4	CH4 CH3 CH4
	MIX	——	CH1+CH3	CH2+CH4
48K (16bit)	——	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2

## RECORDING SETUP 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
REC SPEED (カメラ) (VCR)	記録時間モードを選択します。 SP : SP (標準) モード LP : LP (長時間) モード
AUDIO REC (カメラ) (VCR)	PCM オーディオへの記録変換方式 (音声記録モード) を選択します。 32K (12bit) : 12bit/21kHz 48K (16bit) : 16bit/48kHz
MIC ALC (カメラ)	マイクレベル自動制御機能の ON/OFF を切り替えます。 ON OFF ON に設定すると、過大な入力レベルのときに音声歪みを低減することができます。 ●音声信号の記録レベルは、この項目の設定に関係なく、AUDIO コントロールつまみで調整してください。
MIC GAIN 1 (カメラ)	INPUT 1 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 -50dB -60dB
MIC GAIN 2 (カメラ)	INPUT 2 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 -50dB -60dB
1394 TC REGEN (VCR)	DV 端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するタイムコードを選択します。 ON : DV 端子に入力されている信号のタイムコードで記録します。 OFF : TC MODE 項目 / TCG 項目 / FIRST REC TC 項目で設定されたタイムコードで記録します。 ●この項目が ON に設定された場合、TC MODE 項目 / TCG 項目 / FIRST REC TC 項目の設定よりも優先されます。 ●DV 端子に信号が入力されていないときは、TC MODE 項目 / TCG 項目 / FIRST REC TC 項目の設定に従います。
TC MODE (カメラ) (VCR)	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録するときの、タイムコード補正モードを選択します。 DE : ドロップフレームモードを使用します。 NDF : ノンドロップフレームモードを使用します。 ●プログレッシブモードを24Pや24P (ADV) に設定しているときは、この項目の設定に関係なく、ノンドロップフレームモードになります。

項目 / (表示モード)	設定内容
TCG (カメラ) (VCR)	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。 FREE RUN : 動作モードに関係なく歩進させます。 REC RUN : 記録中のときに歩進させます。
FIRST REC TC (カメラ) (VCR)	記録開始時に記録するタイムコードを選択します。 REGEN : テープ上のタイムコードに連続する (リジエネする) ように記録します。 PRESET : テープ上のタイムコードにリジエネを行いません。TC PRESET 項目で設定した値を初期値として、タイムコードを記録します。ただし、つなぎ撮りを行ったときは、強制的にリジエネを行います。
TC PRESET (カメラ) (VCR)	記録するタイムコードの初期値を設定します。FIRST REC TC 項目で PRESET を選択したときに有効になります。 ●プログレッシブモードを24Pや24P (ADV) に設定しているときは、フレームの値を、0 または、5 の倍数に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。
1394 UB REGEN (VCR)	DV 端子に接続している機器の信号を記録するとき、記録するユーザーズビットを選択します。 ON : DV 端子に入力されている信号のユーザーズビットで記録します。 OFF : UB MODE 項目で選択されているユーザーズビットで記録します。 ●この項目が ON に設定された場合、UB MODE 項目の設定よりも優先されます。 ●ユーザーズビット情報が無い信号の場合は、ユーザーズビットを記録しません。 ●DV 端子に信号が入力されていないときは、UB MODE 項目の設定に従います。

\_\_\_\_\_ は工場出荷モードです。

## RECORDING SETUP 画面 (つづき)

項目 / (表示モード)	設定内容
UB MODE (カメラ) (VCR)	<p>ユーザズピットとして記録する内容を設定します。</p> <p><b>USER:</b> ユーザの情報を記録します。</p> <p><b>TIME:</b> 記録した時刻を記録します。</p> <p><b>DATE:</b> 記録した日付を記録します。</p> <p><b>TCG:</b> タイムコードジェネレーターの値を記録します。</p> <p><b>FRM. RATE:</b> フレーム変換のフレームレート情報を記録します。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> ** 0 * * * *                 a   b   c   d </pre> </div> <p><b>a: ユーザズピット値の検算情報</b>  <b>b: フレームシーケンス No.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>24P/24P (ADV) モードのときは、0～4を表示。</li> <li>60i/30P モードのときは、Fを表示。</li> </ul> <p><b>c: フレームレート情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレームレート (60/30/24)</li> <li>I/P 識別情報</li> <li>変換情報</li> <li>フレームレート係数</li> </ul> <p><b>d: 記録管理情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>更新フレーム情報</li> <li>REC START/STOP 情報</li> </ul>

項目 / (表示モード)	設定内容
UB PRESET (カメラ) (VCR)	ユーザズピットを設定します。ただし、UB MODE 項目で USER を選択している必要があります。
ONE SHOT REC (カメラ)	コマ撮り撮影の ON/OFF を切り替えます。 (→ 38 ページ) ON OFF
REC TIME (カメラ)	コマ撮り撮影を行うときの記録時間の設定 (→ 38 ページ) 0.5s : 0.5 秒    1s : 1.0 秒 1.5s : 1.5 秒    2s : 2.0 秒
DV IN PRESET (VCR)	TC SET ボタンを押したときに、DV 入力の TC に内部 TCG 値を同期してセットします。 ON : 同期セットモードに設定します。 OFF : 同期セットモードを解除します。

## AV IN/OUT SETUP 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
A DUB INPUT (VCR)	<p>アフレコを行うときに記録する音声を選択します。(→ 60 ページ)</p> <p>MIC A_IN</p>
DV OUT (VCR)	<p>入力されているアナログ信号をデジタル信号に変換して、DV 端子から出力する機能の ON/OFF を切り替えます。(→ 62 ページ)</p> <p>OFF ON</p>

\_\_\_\_\_は工場出荷モードです。



## DISPLAY SETUP 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
ZEBRA DETECT 1 (カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 80%、85%、90%、95%、100%、105%
ZEBRA DETECT 2 (カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、右側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 80%、85%、90%、95%、100%、105%、OFF <ノート> OFF に設定したときは、このゼブラパターンを表示しません。
MARKER (カメラ)	マーカーの表示 ON/OFF を切り替えます。 ON OFF •ON に設定すると、ZEBRA ボタンを押して、マーカーを表示することができます。(→ 37 ページ)
VIDEO OUT OSD (カメラ) (VCR)	ON に設定すると、ビューファインダーや液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。 ON OFF
DATE/TIME (カメラ) (VCR)	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 OFF: 日付や時刻を表示しません。 TIME: 時刻を表示します。 DATE: 日付を表示します。 TIME&DATE: 日付と時刻を表示します。 •OFF 以外に設定すると、映像出力信号には、VIDEO OUT OSD の設定に関係なく、日付や時刻が表示されます。
LEVEL METER (カメラ) (VCR)	オーディオレベルメーターの表示 ON / OFF を切り替えます。 ON OFF
ZOOM・FOCUS (カメラ)	ズーム値とフォーカス値の表示 ON/OFF を切り替えます。 ON OFF
TAPE・BATTERY (カメラ) (VCR)	テープ残量とバッテリー残量の表示 ON/OFF を切り替えます。 ON OFF

は工場出荷モードです。

項目 / (表示モード)	設定内容
OTHER DISPLAY (カメラ) (VCR)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報量を設定します。 (→ 69 ページ) OFF、PARTIAL、ALL
CAMERA DATA (カメラ) (VCR)	ON に設定すると、テープを再生するとき撮影時のカメラ情報 (手ぶれ補正、絞り値、ゲイン値など) を表示します。 OFF ON
LCD BACKLIGHT (カメラ) (VCR)	液晶モニターのバックライトを調整します。HI に設定すると、通常より明るくなります。 HI NORMAL
LCD SET (カメラ) (VCR)	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。(→ 29 ページ) LCD COLOR LEVEL LCD BRIGHTNESS LCD CONTRAST
EVF SET (カメラ) (VCR)	ビューファインダー映像の表示レベルを調整します。(→ 29 ページ) EVF COLOR LEVEL EVF BRIGHTNESS EVF CONTRAST
SELFSHOOT (カメラ)	対面撮影を行うときに、液晶モニターのミラー機能を切り替えます。 MIRROR に設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。 NORMAL MIRROR
EVF MODE (カメラ) (VCR)	液晶モニターとビューファインダーの表示切り替えを選択します。 ON: ビューファインダーには常に映像を表示します。 AUTO: 液晶モニターを開くと、ビューファインダーの映像が消えます。
EVF COLOR (カメラ) (VCR)	ビューファインダー表示をカラー/モノクロから選択します。 ON: カラー表示 OFF: モノクロ表示
DISPLAY ASPECT (カメラ) (VCR)	液晶モニターとビューファインダーのアスペクトモードを選択します。 AUTO: 記録モード、再生モード等の情報をもとに自動的に切り替えます。 4:3: 4:3 に固定します。 16:9: 16:9 に固定します。 <ノート> 16:9 設定時、LCD ではオーバースキャン状態となり、画面の上下左右が約 10% 欠けます。その他の場合は EVF と LCD とも、画面はほぼ 100% になります。

OTHER FUNCTIONS 画面

項目 / (表示モード)	設定内容
REMOTE (カメラ) (VCR)	<p>付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。(リモコン側の設定 → 24 ページ)</p> <p><b>VCR1 :</b> VCR1 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。</p> <p><b>VCR2 :</b> VCR2 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。</p> <p><b>OFF :</b> リモコンでの操作を受け付けません。</p>
DV CONTROL (カメラ)	<p>DV 端子にバックアップ用の機器を接続して、バックアップ撮影を行う場合の制御方法を設定します。</p> <p><b>OFF :</b> バックアップ用の機器を制御しません。</p> <p><b>EXT :</b> 本機の START/STOP ボタンで、バックアップ用の機器を制御します。本機で撮影している映像を、バックアップ用の機器で記録します。ただし、本機は記録動作を行いません。</p> <p><b>BOTH :</b> 本機で撮影している映像を、本機とバックアップ機器の両方で記録します。</p> <p><b>CHAIN :</b> 撮影中に本機のテープが終端付近になると、記録待機状態になっているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。</p>
DV CMD SEL (カメラ)	<p>本機の START/STOP ボタンを押したときに、バックアップ用の機器が行う記録動作を設定します。</p> <p><b>REC P :</b> 記録と記録一時停止に切り替わります。</p> <p><b>STOP :</b> 記録と停止に切り替わります。</p> <p>&lt;ノート&gt; バックアップ用の機器に、記録一時停止の機能がない場合は、STOP を選択してください。</p>
END SEARCH (カメラ) (VCR)	<p>エンドサーチをしたときの動作を設定します。(→ 55 ページ)</p> <p><b>BLANK REC END</b></p>

項目 / (表示モード)	設定内容
REC LAMP (カメラ)	<p>タリーランプの点灯を設定します。</p> <p><b>OFF :</b> タリーランプは点灯しません</p> <p><b>FRONT :</b> フロントのタリーランプ (マイクロホン側) が点灯します。</p> <p><b>REAR :</b> リアのタリーランプ (ビューファインダー側) が点灯します。</p> <p><b>BOTH :</b> フロントとリア、両方のタリーランプが点灯します。</p>
BEEP SOUND (カメラ)	<p>ビープ音の ON/OFF を切り替えます。</p> <p><b>ON OFF</b></p> <p>ON に設定すると、下記のとときにビープ音を発信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビープ音を発信するときは、出力端子からの音声信号をミュートしてビープ音を出力します。</li> </ul> <p>[ビープ音 1 回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●POWER スイッチを ON にしたとき</li> <li>●撮影を開始したとき</li> </ul> <p>[ビープ音 2 回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●撮影を一時停止したとき</li> </ul> <p>[ビープ音 3 回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットテープが記録禁止状態のとき</li> <li>●本機内部に結露が発生したとき</li> <li>●本機に異常が発生したとき</li> </ul> <p>[ビープ音 10 回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●テープ書き込み不可のとき</li> </ul>
CLOCK SET (カメラ) (VCR)	<p>本機の内蔵カレンダーを設定します。</p>
TIME SHIFT (カメラ) (VCR)	<p>この項目で設定した時間を、内蔵カレンダーの時刻に加算 (時差補正) して、ビューファインダーや液晶モニターに表示します。また、テープにも、加算した時刻が記録されます。</p> <p>+23h...+1h、OFF、-1h...-23h (1 時間ステップ)</p>

\_\_\_\_\_ は工場出荷モードです。

## OTHER FUNCTIONS 画面 (つづき)

項目 / (表示モード)	設定内容
POWER SAVE (カメラ)	<p>省電力モードを選択します。 約 5 分間、特定の操作 * がない場合に <b>ON</b> : 本機の電源を OFF の状態にします。 <b>OFF</b> : 電源は切らず、シリンダーヘッドのみ 停止状態 (スタンバイ) にします。</p> <p>* 特定の操作とは下記以外のスイッチ やボタンの操作です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●AUTO ボタン</li> <li>●FOCUS スイッチ</li> <li>●PUSH AUTO ボタン</li> <li>●ND FILTER スイッチ</li> <li>●GAIN スイッチ</li> <li>●WHITE BAL スイッチ</li> <li>●IRIS ボタンとダイヤル</li> <li>●CH1/CH2 SELECT スイッチ</li> <li>●INPUT1/2 スイッチ</li> <li>●AUDIO コントロールつまみ</li> <li>●OIS ボタン</li> <li>●SHUTTER ボタン</li> <li>●SPEED SEL ボタン</li> <li>●ズームボタンとリング</li> <li>●HANDLE ZOOM スイッチ</li> </ul> <p>●液晶モニターの開閉</p> <p>&lt;ノート&gt; DV (IEEE1394) ケーブルを使用 して外部機器と接続し、通信状態と なっているときは、特定の操作をし なかった場合でも電源 OFF にはな りません。</p>
LANGUAGE (カメラ) (VCR)	<p>メニュー表示言語を設定します。 <b>ENGLISH</b> : 英語 <b>JAPANESE</b> : 日本語</p>
H.P MODE (カメラ)	<p>ヘッドホン出力を設定します。 <b>TAPE</b> : テープに記録される状態の音声 (映 像と同期した音声) を出力します。 <b>LIVE</b> : マイクから入力された音声を、その まま出力します。 BEEP SOUND ON/OFF に関わら ず、BEEP 音は出ません。 24P モードなどで、音の遅延が気 になる場合にお使いください。</p>

項目 / (表示モード)	設定内容
USER FILE (カメラ) (VCR)	<p><b>LOAD</b> : 前回保存されたユーザーファイルの 設定値を読み出します。 <b>SAVE</b> : 変更したユーザーファイルの設定値 を保存します。 <b>INITIAL</b> : ユーザーファイルの設定値を工場出 荷時の状態に戻します。 ●LOAD や INITIAL を行ったときは、 設定値を有効にするために、本機の POWER スイッチを OFF にし、再 度 ON にしてください。</p>
FILE TRANS (カメラ)	<p>シーンファイルの転送設定をおこない ます。(→ 51 ページ) <b>SCENE</b> : シーンダイアルで設定されている ファイルを転送します。 <b>SCENE ALL</b> : シーンファイル全てのファイルを転 送します。 <b>USER</b> : ユーザーファイル全てを転送します。 &lt;ノート&gt; TRANS モードのときは、MENU 操作のボタン以外は動作しません。</p>
FILE RECEIVE (VCR)	<p>シーンファイルの受信設定をおこない ます。(→ 51 ページ) &lt;ノート&gt; RECEIVE モード設定後、画面中央に RECEIVE MODE と表示されます。 RECEIVE モードのときは、MENU 操作のボタン以外は動作しません。</p>
HOURLY METER (カメラ) (VCR)	<p>シリンダーヘッドの総回転時間 (時間 単位で 5 桁) を表示します。</p>

\_\_\_\_\_は工場出荷モードです。

# 故障？と思ったら (Q&A)

## 電源関係

電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。</li> </ul>	P14
電源がかってに切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーの消耗やテープの摩耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が 5 分以上続くと、自動的に電源が切れます。設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の POWER SAVE 項目を確認してください。</li> </ul>	P16、P83
電源が入ってもすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、<input type="checkbox"/> の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。</li> <li>● 結露が発生していませんか。寒い所から暖かい所にビデオカメラを持ち込んだときなど、内部に結露が発生することがあります。この場合は、自動的に電源が切れ、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。</li> </ul>	P25  P87

## バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 十分に充電されていますか。AC アダプターの CHARGE ランプが消灯するまで充電してください。</li> <li>● 低い温度のところで使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用時間が短くなります。</li> <li>● バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。</li> </ul>	P25  ——  ——
バッテリーが充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DC コードが AC アダプターに接続されていませんか。DC コードを接続していると充電できません。</li> </ul>	——

## 通常録画時

カセットテープを正しく入れているのに録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カセットテープの誤消去防止つまみが開いていませんか。カセットテープについている誤消去防止つまみが開いている (SAVE 側になっている) と録画できません。</li> <li>● カセットテープの終端 (テープの一番最後) 位置になっていませんか。新しいテープに交換してください。</li> <li>● POWER スイッチが ON になっていますか。</li> <li>● VCR ランプが点灯していませんか。VCR モードのときは、撮影することができません。</li> <li>● カセットホルダーが開いていませんか。カセットホルダーが開いていると、ビデオカメラの操作ができません。</li> <li>● 結露が発生していませんか。結露が発生していると、カセットテープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。</li> <li>● AUTO OFF/T REEL LOCK が表示していると、テープが切断していることが考えられます。テープを確認してください。</li> </ul>	P19  ——  ——  ——  P87  ——
---------------------------	---	--

## いろいろな録画時

自動でピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手動フォーカスモードになっていませんか。オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。</li> <li>● オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わせるができます。</li> </ul> <p><b>ピントの合いにくい場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠くと近くのを撮る</li> <li>・ 汚れたガラスの向こうのを撮る</li> <li>・ 暗い場所を撮る</li> <li>・ キラキラと光るものが周りにある</li> <li>・ 動きの速いものを撮る</li> <li>・ コントラストの少ないものを撮る</li> </ul>	P42 —
--------------	--	----------

## 編集関係

アフレコができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カセットテープの誤消去防止つまみが開いていませんか。誤消去防止つまみが開いている (SAVE 側になっている) と編集できません。</li> <li>● LP モードで撮影した部分に編集しようとしていませんか。LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。</li> </ul>	P19 —
------------	---	----------

## 表示関係

タイムコード表示がおかしくなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならないときがありますが故障ではありません。</li> </ul>	—
テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 30 秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。</li> <li>● 実際のテープ残量より 2 ～ 3 分少ない表示が出る場合があります。</li> </ul>	— —

## 再生関係 (映像)

再生ボタンを押しても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CAMERA/VCR ボタンを押して、VCR ランプを点灯させていますか。VCR ランプが点灯していないと、再生系の操作はできません。</li> </ul>	P52
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル特有の現象です。故障ではありません。</li> </ul>	—
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていませんか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。</li> </ul>	—
再生画像がきれいに映らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機のヘッドが汚れていませんか。ヘッドが汚れていると、再生画像がきれいに映りません。</li> </ul>	—

## 再生関係 (音声)


本機のスピーカーから再生音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。VCR モード時に、AUDIO MON/VAR ボタン + を押して音量を調整します。</li> </ul>	P53
音声が重なって聞こえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニュー PLAYBACK FUNCTIONS 画面の 32K (12bit) AUDIO 項目を MIX に設定していませんか。</li> <li>設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目を 32K (12bit) に設定して記録したテープにアフレコ編集すると、記録時の音声と後から録音した音声が重なって聞こえます。それぞれの音声を別々に聞くこともできます。</li> </ul>	P78 P79
アフレコすると元の音声が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目を 48K (16bit) に設定して撮影した部分にアフレコすると元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に 32K (12bit) に設定して撮影してください。</li> </ul>	P79

## その他

カセットテープの取り出しができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源の供給はされていますか。AC アダプターやバッテリーが正しく入っていますか。電源が供給されていると、POWER スイッチを ON にしなくてもカセットを取り出すことができます。</li> </ul>	P14
カセットの取り出し操作以外にもできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>結露が発生していませんか。結露が発生していると、カセットテープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。</li> <li>EJECT スイッチをスライドさせてカセットホルダーが開いた後、すぐにカセットホルダーを閉じると、イジェクト以外の操作が、行えなくなることがあります。このときは、再度、EJECT スイッチをスライドさせてカセットホルダーを開き、カセットメカニズムがイジェクト動作を完了したことを確認してから、カセットホルダーを閉じてください。</li> </ul>	P87 ——
リモコンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンのボタン電池が消耗していませんか。リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、ボタン電池が消耗しています。新しいボタン電池と交換してください。</li> <li>リモコンの設定は合っていますか。リモコンと本機の [RIMOTE] 設定が合っていないと、リモコンを操作しても動作しません。</li> </ul>	P24 P24、 P82
本機を前後に傾けたときに、カタカタと音がする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>VCR モードのときや、POWER スイッチが OFF のときは、カメラ部の構造にカタカタと音がする部分があります。故障ではありません。</li> </ul>	——

# 結露

## 内部に結露が起こったときの見わけかたと処置のしかた

ビデオカメラの電源を入れた後、結露表示マーク  が点滅したら、ビデオカメラ内に結露が起きている。この場合、数秒間経過すると自動的に電源が切れます。

次の処置をしてください。

- ① カセットを出します。  
その他の機能は働きません。結露の状態によっては、カセットが出てこない場合があります。この場合は、2～3時間待ってから出してください。
- ② カセットホルダーを開けたまま、2～3時間待ちます。  
待ち時間は、結露の状態や周囲の温度により異なります。

③ 2～3時間後、電源を入れて、結露表示が消えているかどうかを確かめます。

結露表示が消えていても念のため1時間ほど待ってから使ってください。

## 結露表示が出る前にも、結露にご注意ください。

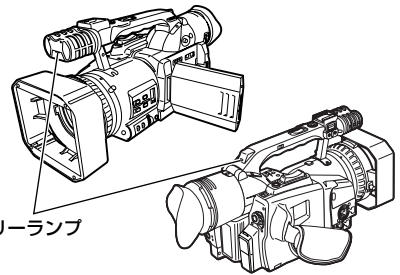
- 結露は徐々に進行しますので、内部で結露が始まってから10～15分間は、結露表示が出ない場合があります。
- 特に温度が低い寒冷地では、露が凍結し、霜になることがあります。このような場合は、霜が溶けて露になるまでさらに2～3時間ほどかかります。

# タリーランプ

OTHER FUNCTIONS 画面の REC LAMP 項目 (→ 82 ページ) を ON に設定すると、撮影中にタリーランプを点灯させることができます。

また、本機が下記の状態のときは、タリーランプが点滅します。

- リモコン操作の受信時 (1秒間に8回)
- 撮影開始時 (1秒間に8回)
- テープの終端位置になったとき (1秒間に4回)
- テープ走行系の異常が発生したとき (1秒間に4回)
- テープ残量やバッテリー残量が少なくなったとき (1秒間に1回)



タリーランプ

# システムリセット

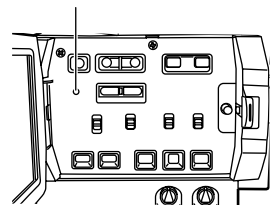
電源が入っているのに操作できないなど、トラブルがおこったときは、システムマイコンのリセットを行います。

カメラレコーダー本体の RESET ボタンを先の細いもので押してください。

リセットを行っても、確定した設定メニューの値や、メモリーしている内容は消えません。

本機が正常に動作しているときは、押さないでください。

RESET ボタン



# ビデオヘッド

ビデオヘッドがよごれていると、再生したときに部分的にモザイク状のノイズが出たり、画像全体が青くなります。

よごれがひどくなると、録画能力が低下し、最悪の場合は録画ができなくなります。

## ヘッドよごれが起こる原因

- 空気中のほこりの多さ。
- 高温、多湿な環境。
- テープの傷。
- 長時間の使用。

## クリーニングテープを使う（付属品）

- ① クリーニングテープをカメラレコーダーに挿入し、POWER スイッチを ON にします。
- ② CAMERA/VCR ボタンを押し、VCR ランプが点灯していることを確認します。
- ③ OPERATION レバーを▶の方向に倒し、10秒以内に■の方向に倒します。  
(このときテープは巻き戻さないでください。)
- ④ クリーニングテープを取り出し、他のテープで試しに録画・再生をし、画像をチェックします。
- ⑤ 映像が鮮明でない場合、①～④の手順を繰り返します。  
(クリーニングテープは4回以上続けて使用しないでください。)

- クリーニングテープは途中で巻き戻さないでください。テープの最後で巻き戻し、テープの始めから同様にもう一度使ってください。
- クリーニングしてもすぐにヘッドが汚れるときはテープが劣化している場合がありますので、直ちに使用を中止してください。
- クリーニングテープを使いすぎると、ヘッド摩擦の原因になります。摩擦すると、ヘッドをクリーニングした直後でも映像がきれいに再生されません。
- クリーニングテープを使用してもヘッド汚れが改善されない場合は、販売店での掃除・修理が必要です。販売店にご相談ください。

## 定期点検

美しい画像をご覧いただくために、ビデオヘッドなどの摩耗部品を、およそ使用2000時間を目安に交換されることをおすすめします。  
(ただし、温度、湿度、ほこりなどの使用環境によって、この時間は大幅に異なります。)

# お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

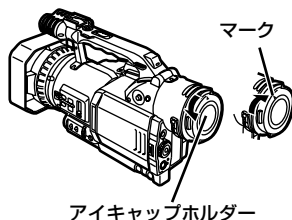
- ベンジンやシンナーを使うと、ビデオカメラ本体が変形したり、塗装がはげるとおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でビデオカメラを拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。

## ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダーの内部にホコリが付着した場合、アイキャップホルダーを取り外して除去してください。

- アイキャップホルダーの内側には、特殊処理を施していますので、絶対に拭かないでください。ホコリが付着したときは、エアブローなどで吹き飛ばしてください。

- アイキャップホルダーは、反時計方向に回して取り外します。このとき、少しビューファインダーを上向きにして行ってください。
- アイキャップホルダーを取り付けるときは、アイキャップホルダーのマークを上方向にし、時計方向に回して取り付けてください。





# 保管上のお願い

保管時は、ビデオカメラからカセットを出し、バッテリーを外してください。湿度が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

[推奨温度：15℃～25℃]

[推奨相対湿度：40%～60%]

## ビデオカメラ

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

## バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子が錆びるなどして故障の原因となることがあります。
- バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。
- バッテリーは放電した状態で保管してください。長期間保管する場合、1年に1回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。

## カセットテープ

- テープは始端（巻き始め）まで巻き戻して保管してください。テープを途中で止めた状態で半年以上（保管状態により異なります）置いておくとテープがたるみます。必ず始端まで確実に巻き戻してください。
- もとのケースに入れて保管してください。ほこりや直射日光（紫外線）、湿度などはテープをいためることがあります。ほこりには堅い鉱物質の粒子も混じっており、カセットにほこりが入るとビデオカメラのヘッドやその他の部品をいためてしまいます。必ずもとのケースに戻す習慣をつけてください。
- 半年に一度は巻き直しをしてください。テープを1年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度の変化による膨張、収縮などでゆがみが起きることがあります。また、テープどうしが張り付いてしまうことがあります。
- 強い磁気を持つ物質や機器の近くにカセットを置かないでください。
- テープの表面には極めて細かな磁気粒子がコーティングされており、ここで信号を記録しています。磁気ネックレスやおもちゃなどは、思ったより磁気が強く、録画内容を消したり、画面や音声にノイズを発生させる原因となることがあります。

# 保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス  
などのご相談は、まず、  
**お買い上げの販売店**  
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## ■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

### 保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、下記の部品につきましては、保証期間内でも使用時間による保証となります。

メカニズムユニット：2,000 時間

## ■ 補修用性能部品

当社では、カメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。


### ご連絡いただきたい内容

品名	カメラレコーダー
品番	AG-DVX100B
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

# 定格

## 【総合】

<b>電源電圧</b>	DC7.2 V/7.9 V
<b>消費電力</b>	6.8 W (ビューファインダー使用時) 7.2 W (液晶モニター使用時)

 は安全項目です。

### 動作周囲温度

0℃～40℃

### 動作周囲湿度

10%～85% (結露なし)

### 質量

1.7 kg (バッテリーや付属品を除く)

### 外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

139 mm × 160 mm × 364 mm

### 記録フォーマット

デジタルビデオ SD 仕様

### テープフォーマット

Mini DV 方式

### 記録ビデオ信号

525i (NTSC)

プログレッシブモードでは、525i に変換して

記録

### 撮影モード

60i (525i)

プログレッシブモード (30P/24P/24P アドバンス)

### 記録オーディオ信号

PCM デジタル記録

16bit : 48kHz/2ch

12bit : 32kHz/4ch

### 記録トラック

デジタル・ビデオ / オーディオ :

ヘリカルトラック

タイムコード :

ヘリカルトラック (サブコード領域)

### テープスピード

SP モード : 18.812 mm/ 秒

LP モード : 12.555 mm/ 秒

### 記録時間 (AY-DVM60 使用時)

SP モード : 60 分

LP モード : 90 分

### 使用テープ

6.35 mm 幅メタルテープ

### FF/REW 時間

約 140 秒 (AY-DVM60 使用時)

### 撮像素子

CCD 型個体撮像素子 × 3

(1/3 型、インターライン型、プログレッシブ対応)

### 画素数

総画素 41 万画素、有効画素 38 万画素 (水平画素ずらし方式)

### レンズ

LEICA DICOMAR 光学式手振れ補正レンズ、

電動 / マニュアル切り替え 10 倍ズーム、

F1.6 (f=4.5 ~ 45 mm)

(35 mm 換算 : 32.5 ~ 325 mm)

### 色分解光学系

プリズム方式

### ND フィルター

1/8、1/64

### ゲイン切り替え

0/+3/+6/+9/+12/+18 dB (60i モード)

0/+3/+6/+9/+12 dB (プログレッシブモード)

(ただしスローシャッターモード時は 0 dB 固定)

### シャッタースピード

プリセット

60i モード :

1/60 (OFF)、1/100、1/120、

1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒

30P モード :

1/30、1/50 (OFF)、1/60、1/120、1/250、

1/500、1/1000 秒

24P/24P (ADV) モード :

1/24、1/50 (OFF)、1/60、1/120、1/250、

1/500、1/1000 秒

シンクロスキャン

60i モード : 1/60.3 ~ 1/250.0 秒

30P モード : 1/30.1 ~ 1/250.0 秒

24P/24P (ADV) モード :

1/24.1 ~ 1/250.0 秒

スローシャッター

60i モード : 1/4、1/8、1/15、1/30

30P モード : 1/4、1/8、1/15

24P/24P (ADV) モード : 1/6、1/12

### 最低被写体照度

3 lx (F1.6、ゲイン 18 dB、

映像出力 50 IRE)

### レンズフード

広視野大型レンズフード

### フィルター径

72 mm

### 液晶モニター

3.5 インチ、液晶カラーモニター、21 万画素

### ビューファインダー

0.44 インチ、液晶カラービューファインダー、

23.5 万画素

### 内蔵マイク

ステレオマイクロホン

### 内蔵スピーカー

28 mm 丸形

## 定格 (つづき)

### 【ビデオ】

#### サンプリング周波数

Y : 13.5 MHz、PB/PR : 3.375 MHz

#### 量子化

8 bit

#### ビデオ圧縮方式

DCT+ 可変長符号

#### エラー訂正

リードソロモン積符号

### 【オーディオ】

#### サンプリング周波数

48 kHz/32 kHz

#### 量子化

16 bit/12 bit

#### 周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz

#### ワウ・フラッター

測定限界値以下

### 【コネクター部】

#### VIDEO IN/OUT (入出力自動切り替え)

ピンジャック、アナログ・コンポジット入出力、

1.0 V [p-p]、75 Ω

#### S-VIDEO IN/OUT (入出力自動切り替え)

S 端子、Y/C セパレート信号入出力、

Y : 1.0 V [p-p]、C : 0.286 V [p-p]、

75 Ω

#### AUDIO IN/OUT (入出力自動切り替え)

ピンジャック × 2 (CH1、CH2)

入力 : 316 mV、ハイインピーダンス

出力 : 316 mV、600 Ω

#### DV

4 ピン、デジタル入出力、IEEE1394 規格に準拠

#### INPUT 1、INPUT 2

XLR (3 ピン) × 2 (CH1、CH2)、

LINE/MIC 切り替え、ハイインピーダンス

LINE : 0 dBu

MIC :

- 50 dBu / - 60 dBu (メニューにて切り替え)

#### DC INPUT

7.9 V

#### PHONES

ステレオミニジャック (3.5 mm 径)

#### CAM REMOTE

ミニジャック (3.5 mm 径)

(FOCUS IRIS)

スーパーミニジャック (2.5 mm 径)

(ZOOM S/S)

### 【AC アダプター】

定格入力 100 V - 240 V、50/60 Hz

定格出力 8.4 V、1.2 A (充電時)

7.9 V、1.4 A (電源供給時)

#### 入力容量

23 VA (100 V) / 32 VA (240 V) 充電時

25 VA (100 V) / 35 VA (240 V) 電源供給時

は安全項目です。

#### 質量

160 g

#### 外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

70 mm × 44.5 mm × 116 mm

### 【別売周辺機器】

#### ワイドコンバージョンレンズ

AG-LW7208G

#### 16 : 9 コンバージョンレンズ

AG-LA7200G

#### 超指向性マイクロホン

AG-MC100G

#### ハードキャリングケース

AG-HT100G

#### ソフトキャリングケース

AG-SC100G

#### バッテリー (リチウムイオン)

VW-VBD33 (1500 mAh)

VW-VBD35 (2700 mAh)

VW-VBD55

(5400 mAh : 付属のバッテリーと同等品)

#### AC アダプターキット

AG-B15 (付属の AC コード・DC コード・AC アダプターと同等品)

#### クリーニングテープ

AY-DVMCL

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。







---

## 松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06) 6901-1161

